

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 01 R2
提出年月日	令和 3 年 4 月 28 日

加工施設（ウラン濃縮）の設工認申請全体の 関係性、網羅性に係る補足説明資料

本資料は、【濃縮個別 01 R1】の改訂版（R2）である。

改訂内容は以下のとおり。

○添付 1 について以下の修正をした。（P5～P49）

- ・添付 1 - 1 の設備リストの名称について仕様表と整合を図るとともに数量、単位を適正化した。
- ・添付 1 - 1 の設備リストの主配管について、仕様表の From to を反映した。
- ・添付 1 - 2 の色塗り結果と設備リストとの紐付けの確認例として、設計図書との紐付けの例を追加した。
- ・添付 1 - 3 として、事業変更許可申請書の本文「三. 変更の内容」と各設工認との関係を整理した表を追加した。

○添付 3 の申請境界の説明図について、第 4 回の UF₆ 処理設備と第 5 回申請で撤去する付着ウラン回収設備の配管との取合いを追加した。（P56）

○濃縮個別 04 に記載していた「RE-1 廃棄物化の設工認の申請方針」について、本補足説明資料に記載することに見直した。（P67～P71）

※【濃縮個別 01 R1】から変更した部分を青字にて示す。

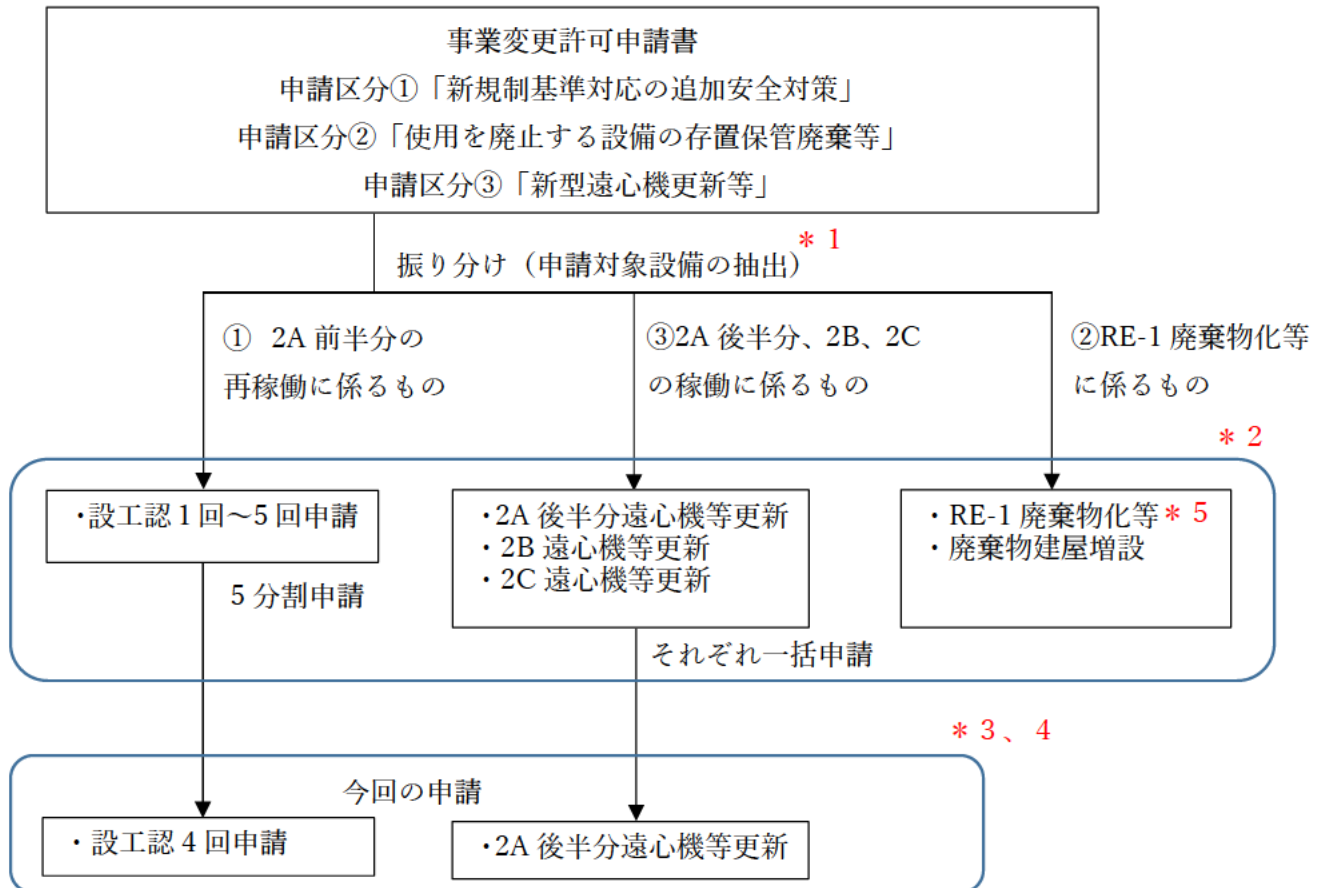
目 次

1. 申請の全体計画	1
添付1 全体の設工認申請設備について	
添付2 設工認申請設備の全体像について	
添付3 各申請における設備の取合いについて	
添付4 今回の申請における主な変更点について	
添付5 RE-1 廃棄物化の設工認の申請方針について	

1. 申請の全体計画

加工施設（ウラン濃縮）においては、事業変更許可申請書（平成 29 年 5 月 17 日付け原規規発第 1705174 号）に示す工事計画（申請区分①～③）に基づき、設工認を申請する計画としている。

今回は、①のうち設工認 4 回申請、③のうち 2A 後半分遠心機等更新の 2 件の設工認を申請しており、今回の設工認と全体の他の設工認との関係等を以下の体系図及び関連する説明資料（添付 1～5）により整理した。なお、今回は申請概要として他申請との関係性、設備の網羅性、主な変更点を示し、次回以降に具体的設計内容を基に詳細の説明を実施する。



	資料名称	資料説明
* 1	添付 1 全体の設工認申請設備について	・申請区分①～③全体の設工認申請設備等を抽出したリスト等をまとめたもの
* 2	添付 2 設工認申請設備の全体像について	・申請区分①～③全体の設備をウラン濃縮工場の全体配置図上に示し、申請の全体像を示したもの
* 3	添付 3 各申請における設備の取合いについて	・今回の申請設備と 5 回申請、RE-1 廃棄物化等に係る設備との取合いを明確化したもの
* 4	添付 4 今回の申請における主な変更点について	・今回の申請において、変更となる主な内容を表に整理し、今後、重点的に説明していく必要がある内容を明確化したもの
* 5	添付 5 RE-1 廃棄物化の設工認の申請方針について	・既存の設備・機器（RE-1 設備）の廃棄に係る考え方と設工認の手続きについて整理したもの

添付1 全体の設工認申請設備について

1. 全体の設工認申請設備について

- 施設全体（申請区分①～③）に係る設工認申請設備等を抽出したリストを添付1-1に示す。本リストは、事業変更許可申請書（本文、添付書類五）及び設計図書の色塗りにより抽出した設備をリスト化したものである。本リストについては、今後、全社の新共通06の「仕様表記載対象と基本設計方針対象の基本的な考え方」の選定フロー等に基づき、仕様表、基本設計方針として記載すべき設備を選定、仕分けする。
- 色塗り結果と本リストとの紐付けの確認例を添付1-2に示す。本リストについては、色塗り済みの事業変更許可申請書等に付した番号と紐付けを行い、漏れ等がないことを確認している。
- また、事業変更許可申請書の本文「三. 変更の内容」に記載の変更項目と各設工認との関係を添付1-3に示す。

本リストの記載内容の説明				事業変更許可に基づく設工認申請区分										番号						
施設区分	設備区分	系統	機器名	既設/新設	安重/非安重	常設/可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)		(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①: RE-2A ②: RE-2B, 2C				
口、濃縮施設	カスケード設備	新型遠心機	遠心分離機 (RE-████)	既設	非安重	常設	第2類	1G	████	機	◎	申請済み			③	1				
			主要配管 (RE-████)	既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	◎	申請済み			③		2			
			主要配管 (RE-2A)	既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	◎	◎	配管番号 1.1.1-1			④		3		
			2Aカスケード室第1支持点 ~ UF6処理設備との取合い部																	
			主要配管等の支持構造物 (RE-████)	既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○	申請済み				③		4		
			主要配管等の支持構造物 (RE-2A共通)	既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○					④		5		
			カバー、シート (RE-████)	新設	非安重	常設	-	-	—	式	-	申請済み				③		6		
			カバー、シート (RE-2A共通)	新設	非安重	常設	-	-	—	式	-					④		7		
			ページ用室素配管	既設	非安重	常設	-	-	—	式	○					④		8		
			濃縮度測定装置	本計器については、463にて管理する。														9		
			2A製品プースタポンプ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	○	撤去。既認可の仕様表対象機器であるため、発電炉と同様に撤去することを仕様表で明確にする。				④		10		
遠心分離機 (RE-████)	新設	非安重	常設	第2類	1G	████	機	-						①	11					
①事業変更許可申請書の本文、添付書類に記載のある設備・機器等を色塗りにより抽出し、網羅的に記載。				②抽出した設備について、既設か新設、耐震クラス、数量等の許認可、設計情報を記載。				③既認可の設工認で仕様表対象としていれば「◎」、適合説明、図面等に記載があれば「○」、記載がなければ「-」を記載。				④機器に含まれる付属品の情報、申請対象外とする場合の理由等を記載。				⑤許可の申請区分「(1)新規基準の追加安全対策」、「(2)使用を廃止する設備の存置保管廃棄等」、「(3)新型遠心機更新等」のいずれに該当するか記載。 欄内の丸数字は以下に対応 ・(1)欄の①~⑤:1~5回申請 ・(3)欄の①: RE-2A、②: RE-2B,2C				12-1
																				12-2
																				13
																				14
																				15
①事業変更許可申請書の本文、添付書類に記載のある設備・機器等を色塗りにより抽出し、網羅的に記載。				②抽出した設備について、既設か新設、耐震クラス、数量等の許認可、設計情報を記載。				③既認可の設工認で仕様表対象としていれば「◎」、適合説明、図面等に記載があれば「○」、記載がなければ「-」を記載。				④機器に含まれる付属品の情報、申請対象外とする場合の理由等を記載。				⑤許可の申請区分「(1)新規基準の追加安全対策」、「(2)使用を廃止する設備の存置保管廃棄等」、「(3)新型遠心機更新等」のいずれに該当するか記載。 欄内の丸数字は以下に対応 ・(1)欄の①~⑤:1~5回申請 ・(3)欄の①: RE-2A、②: RE-2B,2C				16
																				17
																				18
																				19
																				20
																				21
																				22
																				23
																				24
金属製遠心機				金属製遠心分離機、主要配管 (2A後半)				既設 非安重 常設 - - █████ 台、式 ◎				撤去。申請済み				③	25			

設工認申請設備リスト (1/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	
ロ、濃縮施設	カスケード設備	新型遠心機	遠心分離機 (RE- XXXXXXXX)	
			主要配管 (RE- XXXXXX)	
			主要配管 (RE-2A)	2Aカスケード室第1支持点 ～ UF6処理設備との取合い部
			主要配管等の支持構造物 (RE- XXXXXX)	
			主要配管等の支持構造物 (RE-2A共通)	
			カバー、シート (RE- XXXXXX)	
			カバー、シート (RE-2A共通)	
			ページ用窒素配管	
			濃縮度測定装置	
			2A製品ブースタポンプ	
			遠心分離機 (RE- XXXXXX)	
			主要配管 (RE- XXXXXX)	2Aカスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- XXXXXX)
			主要配管等の支持構造物 (RE- XXXXXX)	2Aカスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- XXXXXX)
			カバー、シート (RE- XXXXXX)	
			遠心分離機 (RE-2B)	
			主要配管 (RE-2B)	
			主要配管等の支持構造物 (RE-2B)	
			カバー、シート (RE-2B)	
			ページ用窒素配管 (RE-2B)	
			遠心分離機 (RE-2C)	
			主要配管 (RE-2C)	
			主要配管等の支持構造物 (RE-2C)	
			カバー、シート (RE-2C)	
			ページ用窒素配管 (RE-2C)	
		金属銅遠心機	金属銅遠心分離機、主要配管 (2A後半)	

既設/新設	安重/非安重	常設/可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規制基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤:1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第2類	1G	XXXXXX	機	◎	申請済み	③			1
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	◎	申請済み	③			2
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	◎	配管番号 1.1.1-1	④			3
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○	申請済み	③			4
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○		④			5
新設	非安重	常設	-	-	—	式	-	申請済み	③			6
新設	非安重	常設	-	-	—	式	-		④			7
既設	非安重	常設	-	-	—	式	○		④			8
本計器については、463にて管理する。												
既設	非安重	常設	-	-	2	基	○	撤去。既認可の仕様表対象機器であるため、発電炉と同様に撤去することを仕様表で明確にする。	④			10
新設	非安重	常設	第2類	1G	XXXXXX	機	-				①	11
新設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	-	配管番号 1.2.3-1			①	12-1
新設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	-	配管番号 1.2.4-1			①	12-2
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○				①	13
新設	非安重	常設	-	-	—	式	-				①	14
新設	非安重	常設	第2類	1G	XXXXXX	機	-				②	15
新設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	-				②	16
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○				②	17
新設	非安重	常設	-	-	—	式	-				②	18
既設	非安重	常設	-	-	—	式	○				②	19
新設	非安重	常設	第2類	1G	XXXXXX	機	-				②	20
新設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	-				②	21
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	○				②	22
新設	非安重	常設	-	-	—	式	-				②	23
既設	非安重	常設	-	-	—	式	○				②	24
既設	非安重	常設	-	-	XXXXXX —	台、式	◎	撤去することを申請済み。	③			25

設工認申請設備リスト (2/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
UF6処理設備			金属銅遠心分離機、主要配管 (2B)
			金属銅遠心分離機、主要配管 (2C)
	発生・供給系	2号発生槽	
		2号圧力調整槽	
	製品系	2号製品コールドトラップ	
		2号製品回収槽	
	廃品系	2A廃品コールドトラップ	
		2号廃品コールドトラップ (RE-2B、2C)	
		2号廃品回収槽	
	捕集排気系	2号捕集排気系ケミカルトラップ (NaF)	
		2号捕集排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)	
		2号捕集排気系ロータリポンプ	
	カスケード排気系 (CS系)	2Aカスケード排気系プースタポンプ (CS系)	
		2Aカスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CS系)	
		2Aカスケード排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃) (CS系)	
		2Aカスケード排気系ロータリポンプ (CS系)	
		2号カスケード排気系プースタポンプ (RE-2B、2C) (CS系)	
		2号カスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (RE-2B、2C) (CS系)	
		2号カスケード排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃) (RE-2B、2C) (CS系)	
		2号カスケード排気系ロータリポンプ (RE-2B、2C) (CS系)	
	カスケード排気系 (CB系)	2号カスケード排気系プースタポンプ (CB系)	
		2号カスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CB系)	
		2号カスケード排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃) (CB系)	
		2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB系)	
	一般バージ系	2号一般バージ系コールドトラップ	
		2号一般バージ系プースタポンプ	
		2号一般バージ系ケミカルトラップ (NaF)	
		2号一般バージ系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)	
		2号一般バージ系ロータリポンプ	

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規制基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	-	-	1	台、式	◎	撤去。既認可の仕様表対象機器であるため、発電炉と同様に撤去することを仕様表で明確にする。			②	26
既設	非安重	常設	-	-	1	台、式	◎	同上			②	27
既設	非安重	常設	第1類	1G	7	基	◎	子台車含む	④			28
既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		④			29
既設	非安重	常設	第1類	1G	4	基	◎		④			30
既設	非安重	常設	第1類	1G	4	基	◎	子台車含む	④			31
既設	非安重	常設	第1類	1G	4	基	◎		④			32
既設	非安重	常設	第1類	1G	8	基	◎				②	33
既設	非安重	常設	第1類	1G	14	基	◎	子台車含む	④			34
既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎	ウラン検出器含む	④			35
既設	非安重	常設	第1類	第1類	2	基	◎		④			36
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		④			37
既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎		④			38
既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎	ウラン検出器含む	④			39
既設	非安重	常設	第1類	第1類	2	基	◎		④			40
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		④			41
既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎				②	42
既設	非安重	常設	第1類	1G	4	基	◎	ウラン検出器含む			②	43
既設	非安重	常設	第1類	第1類	4	基	◎				②	44
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎				②	45
既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎		④			46
既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎	ウラン検出器含む	④			47
既設	非安重	常設	第1類	第1類	2	基	◎		④			48
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		④			49
既設	非安重	常設	第1類	1G	3	基	◎		④			50
既設	非安重	常設	第2類	1G	4	基	◎		④			51
既設	非安重	常設	第1類	1G	4	基	◎	ウラン検出器含む	④			52
既設	非安重	常設	第1類	第1類	4	基	◎		④			53
既設	非安重	常設	第3類	第3類	4	基	◎		④			54

設工認申請設備リスト (3/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規制基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
		その他	2号発生槽(A~G) ~ ・弁:2AV-U0007-A~G 及び2AV-U0207-A~G ・弁:2AV-U0021-A~G 及び2AV-U0221-A~G	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.1-1	④			55-1
			弁:2AV-U0007-A~G及び 2AV-U0207-A~G ~ 2号圧力調整槽	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.1-2	④			55-2
			2号圧力調整槽 ~ ・カスケード設備との 取合い部(弁:2WV- U0009-A, B, C) ・弁:2WV-U0009-D, E, F ・弁:2WV-U5045	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.1-3	④			55-3
			弁:2AV-U0021-A~G ~ 弁:2WV-U5001-A	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.1-4	④			55-4
			弁:2AV-U0221-A~G ~ 弁:2WV-U5201	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.1-5	④			55-5
			カスケード設備との取 合い部(2WV-U1001- A, B, C) ~ ・弁:2AV-U1004-A~D ・弁:2WV-U1001-D, E, F	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-1	④			55-6
			弁:2AV-U1004-A~D ~ ・2号製品コールドト ラップ(A~D) ・弁:2AV-U1031-A~D 及び2AV-U1036-A~D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-2	④			55-7
			弁:2AV-U1031-A~D及び 2AV-U1036-A~D ~ 弁:2AV-U1034-A~D及び 2AV-U1039-A~D	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-3	④			55-8
			弁:2AV-U1034-A~D及び 2AV-U1039-A~D ~ ・2号製品回収槽(A~D) ・弁:2AV-U1051-A~D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-4	④			55-9
			2号製品コールドトラ ップ(A~D) ~ 弁:2AV-U1007-A~D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-5	④			55-10
			弁:2AV-U1007-A~D ~ 弁:2AV-U1010-A, B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-6	④			55-11
			主要配管 (原料発生・供給 系)													
			主要配管 (製品系)													

設工認申請設備リスト (4/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
			弁:2AV-U1010-A, B ~ 捕集排気系ヘッダ前第1 支持点	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-7	④			55-12
			弁:2AV-U1051-A~D ~ 弁:2WV-U5001-B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.2-8	④			55-13
			カスケード設備との取 合い部 ~ 弁:2AV-UA202-A~D	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-A1	④			55-14
			・弁:2AV-UA202-A~D ~ ・2A廃品コールドト ラップ(A~D) ・弁:2AV-UA221-A~D 及び2AV-UA231-A~D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-A2	④			55-15
			弁:2AV-UA221-A~D及 び2AV-UA231-A~D ~ 弁:2WV-UA223及び2WV- UA233	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-A3	④			55-16
			2A廃品コールドトラ ップ(A~D) ~ 弁:2AV-UA205-A~D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-A4	④			55-17
			弁:2AV-UA205-A~D ~ 弁:2AV-UA208-A, B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-A5	④			55-18
			弁:2AV-UA208-A, B ~ 弁:2WV-UA210	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-A6	④			55-19
			弁:2WV-UA223及び2WV- UA233 ~ ・弁:2AV-U2004-B, C ・弁:2AV-U2002-A, B, C 及び2AV-U2007-A, B, C	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-1A	④			55-20
			弁:2WV-UB223及び2WV- UB233 ~ ・弁:2AV-U2004-D, E ・弁:2AV-U2002-D, E, F 及び2AV-U2007-D, E, F	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-1B	④			55-21
			弁:2WV-UC223及び2WV- UC233 ~ ・弁:2AV-U2004-F, G ・弁:2AV-U2002-G, M, N 及び2AV-U2007-G, M, N	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-1C	④			55-22
		主要配管 (廃品系)														

設工認申請設備リスト (5/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
			弁:2WV-UD223及び2WV-UD233 ・弁:2AV-U2004-I, J ・弁:2AV-U2002-I, J	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-1D	④			55-23
			弁:2WV-UE223及び2WV-UE233 ・弁:2AV-U2004-K, L ・弁:2AV-U2002-K, L	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-1E	④			55-24
			弁:2WV-UF223及び2WV-UF233 弁:2AV-U2004-M, N	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-1F	④			55-25
			弁:2AV-U2004-B~G ・弁:2AV-U2004-I~N ・弁:2AV-U2002-H	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-2	④			55-26
			弁:2AV-U2002-A~ G, M, N及び2AV-U2007-A ~G, M, N ・2号廃品回収槽(A~ G, M, N) ・弁:2AV-U2011-A~ G, M, N	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-3	④			55-27
			弁:2AV-U2002-H~L ・2号廃品回収槽(H~L) ・弁:2AV-U2011-H~L	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-4	④			55-28
			弁:2AV-U2011-A~G 弁:2WV-U5001-C	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-5	④			55-29
			弁:2AV-U2011-H~N 弁:2WV-U5001-D	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.3-6	④			55-30
			・捕集排気系ヘッダ前 第1支持点 ・弁:2WV-UA210~2WV- UF210 2号捕集排気系ケミカル トラップ(NaF)A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.4-1	④			55-31
			2号捕集排気系ケミカル トラップ(NaF)A, B 2号捕集排気系ケミカル トラップ(A1203)A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.4-2	④			55-32
			2号捕集排気系ケミカル トラップ(A1203)A, B 弁:2AV-U1023-A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.4-3	④			55-33

設工認申請設備リスト (6/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
			カスケード設備との取 合い部 ~ 2Aカスケード排気系 ブースタポンプ(CS系)	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.5-1	④			55-34
			2Aカスケード排気系 ブースタポンプ(CS系) ~ 2Aカスケード排気系ケ ミカルトラップ (NaF)(CS系)A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.5-2	④			55-35
			2Aカスケード排気系ケ ミカルトラップ (NaF)(CS系)A, B ~ 2Aカスケード排気系ケ ミカルトラップ (A1203)(CS系)A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.5-3	④			55-36
			2Aカスケード排気系ケ ミカルトラップ (A1203)(CS系)A, B ~ 弁:2AV-UA313	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.5-4	④			55-37
			カスケード設備との取 合い部(2WV-U4001- A, B, C) ~ ・2号カスケード排気系 ブースタポンプ(CB系) ・弁:2WV-U4001-D, E, F	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.6-1	④			55-38
			2号カスケード排気系 ブースタポンプ(CB系) ~ 2号カスケード排気系ケ ミカルトラップ (NaF)(CB系)A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.6-2	④			55-39
			2号カスケード排気系ケ ミカルトラップ (NaF)(CB系)A, B ~ 2号カスケード排気系ケ ミカルトラップ (A1203)(CB系)A, B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.6-3	④			55-40
			2号カスケード排気系ケ ミカルトラップ (A1203)(CB系)A, B ~ 弁:2AV-U4014	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.6-4	④			55-41
			弁:2WV-U5001-A及び 2WV-U5045 ~ 2号一般バージ系ブー スタポンプC	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-1	④			55-42
			2号一般バージ系ブー スタポンプC ~ 弁:2AV-U5017-B及び 2AV-U5021-A	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-2	④			55-43
			弁:2AV-U5017-B ~ ・2号一般バージ系コー ルドトラップB ・弁:2AV-U5041-B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-3	④			55-44

設工認申請設備リスト (7/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			2号一般バージ系コールドトラップB ～ 弁：2AV-U5020-B	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-4	④			55-45
			弁：2AV-U5020-B ～ 弁：2AV-U5023-C	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-5	④			55-46
			・弁：2AV-U5021-A ・弁：2AV-U5023-C ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)C	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-6	④			55-47
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)C ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)C	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-7	④			55-48
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)C ～ 弁：2AV-U5034-C	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-8	④			55-49
		主要配管 (一般バージ系 (原料回収系))	弁：2WV-U5201 ～ 2号一般バージ系ブースタポンプD	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-9	④			55-50
			2号一般バージ系ブースタポンプD ～ 弁：2AV-U5017-C及び 2AV-U5021-B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-10	④			55-51
			弁：2AV-U5017-C ～ ・2号一般バージ系コールドトラップC ・弁：2AV-U5041-C	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-11	④			55-52
			2号一般バージ系コールドトラップC ～ 弁：2AV-U5020-C	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-12	④			55-53
			弁：2AV-U5020-C ～ 弁：2AV-U5023-D	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-13	④			55-54
			・弁：2AV-U5021-B ・弁：2AV-U5023-D ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-14	④			55-55

設工認申請設備リスト (8/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)D ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-15	④			55-56
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)D ～ 弁：2AV-U5034-D	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-16	④			55-57
			弁：2AV-5041-B, C ～ 弁：2WV-U5043-B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.7-17	④			55-58
			弁：2WV-U5001-B, C, D ～ 2号一般バージ系ブースタポンプA, B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-1	④			55-59
			2号一般バージ系ブースタポンプA, B ～ ・弁：2AV-U5016-A, B ・弁：2AV-U5010-A, B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-2	④			55-60
			弁：2AV-U5016-A, B ～ ・2号一般バージ系コールドトラップA ・弁：2AV-U5041-A	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-3	④			55-61
			弁：2AV-U5041-A ～ 弁：2WV-U5043-A	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-4	④			55-62
			2号一般バージ系コールドトラップA ～ 弁：2AV-U5020-A	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-5	④			55-63
			弁：2AV-U5020-A ～ 弁：2AV-U5023-A, B	既設	非安重	常設	第2類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-6	④			55-64
			・弁：2AV-U5010-A ・弁：2AV-U5023-A ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)A	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-7	④			55-65
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)A ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)A	既設	非安重	常設	第1類	1G	一	式	◎	配管番号 2.8-8	④			55-66

設工認申請設備リスト (9/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名		既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
														(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)A ～ 弁：2AV-U5034-A		既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	配管番号 2.8-9	④			55-67
			・弁：2AV-U5010-B ・弁：2AV-U5023-B ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)B		既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	配管番号 2.8-10	④			55-68
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)B ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)B		既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	配管番号 2.8-11	④			55-69
			2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)B ～ 弁：2AV-U5034-B		既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	配管番号 2.8-12	④			55-70
			主要配管以外の配管		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-		④			56
			カバー、シート		新設	非安重	常設	-	-	1	式	-		④			57
			バージ用窒素配管		既設	非安重	常設	-	-	1	式	○		④			58
			主要配管の支持構造物		既設	非安重	常設	第1,2類	1G	1	式	○		④			59
			主要配管以外の配管の支持構造物		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-		④			60
			冷凍機ユニット、温水ユニット、電気ヒータ		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	インターロック動作端	④			61
			2号カスケード排気系補助ロータリポンプ		既設	非安重	常設	-	-	4	基	-	撤去。許可、既認可になく、安全に係らない生産系の設備であるため申請対象外とし撤去する。				62
			主要配管(RE-2B, 2C)		既設	非安重	常設	第1,2類	1G	1	式	◎			②		63
			主要配管以外の配管(RE-2B, 2C)		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-			②		64
			カバー、シート(RE-2B, 2C)		新設	非安重	常設	-	-	1	式	-			②		65
	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	2号均質槽		既設	非安重	常設	第1類	1G	6	基	◎	防護カバー、子台車含む	⑤			66
			2号製品シリンダ槽		既設	非安重	常設	第1類	1G	6	基	◎	子台車含む	⑤			67
			2号原料シリンダ槽		既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	子台車含む	⑤			68
			2号サンプル小分け装置		既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎	フード含む	⑤			69
			2号工程用モニタ		既設	非安重	常設	第1類	1G	2	台	◎		⑤			70
			2号局所排気装置		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			71
			中間製品容器		既設	非安重	可搬	-	-	45	本	◎		⑤			72
		均質バージ系	2号均質バージ系コールドトラップ		既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎		⑤			73
			2号減圧槽		既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎		⑤			74

設工認申請設備リスト (10/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
へ、核燃料物質の貯蔵施設	貯蔵設備		2号均質パージ系ケミカルトラップ (NaF)
			2号均質パージ系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)
			2号均質パージ系ブースタポンプ
			2号均質パージ系ロータリポンプ
		その他	主要配管
			主要配管以外の配管
			主要配管の支持構造物
			主要配管以外の配管の支持構造物
			カバー、シート
			パージ用窒素配管
			計量シリンダ
			サンプルシリンダ
		サンプルチューブ	
	冷凍機ユニット、温水ユニット、電気ヒータ		
	高周波電源設備	新型遠心機駆動用	高周波インバータ装置
			高周波インバータ装置
			2B高周波インバータ装置
			2C高周波インバータ装置
		金属銅遠心機駆動用	金属銅用 高周波インバータ装置
	搬送設備	-	原料シリンダ (ANSI又はISO規格 48Y)
製品シリンダ (ANSI又はISO規格 30B)			
廃品シリンダ (ANSI又はISO規格 30B)			
廃品シリンダ (ANSI又はISO規格 48Y)			
付着ウラン回収容器			
原料シリンダ置台 (充填)			
製品シリンダ置台 (充填)			
廃品シリンダ置台 (充填)			
中間製品容器置台			
付着ウラン回収容器置台			
天井走行クレーン A			

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号	
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C		
既設	非安重	常設	第1類	1G	4	基	◎	ウラン検出器含む	⑤			75	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	4	基	◎		⑤			76	
既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎		⑤			77	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	4	基	◎		⑤			78	
既設	非安重	常設	第1,2類	1G	—	式	◎	配管カバー含む	⑤			79	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	-		⑤			80	
既設	非安重	常設	第1,2類	1G	—	式	○		⑤			81	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	-		⑤			82	
新設	非安重	常設	-	-	—	式	-		⑤			83	
既設	非安重	常設	-	-	—	式	○		⑤			84	
既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-	必要個数をまとめて一式として取り扱う。	⑤			85	
既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-	必要個数をまとめて一式として取り扱う。	⑤			86	
既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-	必要個数をまとめて一式として取り扱う。	⑤			87	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	○	インターロック動作端	⑤			88	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	台	◎	申請済み	③			89	
新設	非安重	常設	第3類	第3類	—	台	-			①		90	
新設	非安重	常設	第3類	第3類	—	台	-			②		91	
新設	非安重	常設	第3類	第3類	—	台	-			②		92	
既設	非安重	常設	-	-	—	台	◎	撤去。申請済み	③			93	
既設	非安重	可搬	-	-	228	本	◎		⑤			94	
既設	非安重	可搬	-	-	300	本	◎		⑤			95	
既設	非安重	可搬	-	-			◎		⑤				96
既設	非安重	可搬	-	-			◎		⑤				97
既設	非安重	可搬	-	-	1222	本	◎	中間サドル含む	⑤			98	
既設	非安重	可搬	-	-	36	本	◎		⑤			99	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	228	組	◎		⑤			100	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	300	組	◎		⑤			101	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	750	組	◎		⑤			102	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	46	組	◎		⑤			103	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	36	組	◎	許可に基づき、製品シリンダ置台300組のうち12組を付着ウラン回収容器置台と兼用することも申請。	⑤			104	
既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			104	

設工認申請設備リスト (11/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			天井走行クレーン B	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			105
			天井走行クレーン C	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			106
			天井走行クレーン D	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			107
			天井走行クレーン E	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			108
			天井走行クレーン G	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			109
			天井走行クレーン H	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			110
			天井走行クレーン I	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			111
			天井走行クレーン J	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			112
			天井走行クレーン K	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			113
			天井走行クレーン L	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			114
			天井走行クレーン M	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			115
			天井走行クレーン N	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			116
			天井走行クレーン O	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			117
			天井走行クレーン P	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			118
			均質室天井走行クレーン	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			119
			2号発回均質室天井走行クレーン	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	吊り具含む	⑤			120
			シリンダ搬出入台車	既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	台	◎		⑤			121
			シリンダ搬送台車	既設	非安重	常設	第1類	第1類	5	台	◎		⑤			122
			走行レール (台車)	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	レールの機能を喪失しても、生産のためのシリンダ搬送ができないだけであり、安全機能に係らない。				123
			ターンテーブル (台車)	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	ターンテーブルの機能を喪失しても、生産のためのシリンダ搬送ができないだけであり、安全機能に係らない。				124
			1号中間室系	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			125
			1CD中間室系送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			126
			1号中間室系排風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	3 (内子備1)	基	◎		④			127
			1号発生回収室系	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			128
			1号発生回収室系還気送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	◎		④			129
			管理廃水処理室送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			130
			1号発生回収室系排風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	◎		④			131
			1号均質室系	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			132
			1号均質室系還気送風機	既設	非安重	常設	第2類	第2類	2 (内子備1)	基	◎		④			133
			分析室送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			134
ト、放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	1号中間室系	1AB中間室系送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			125
			1CD中間室系送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			126
			1号中間室系排風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	3 (内子備1)	基	◎		④			127
		1号発生回収室系	1号発生回収室系送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			128
			1号発生回収室系還気送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	◎		④			129
			管理廃水処理室送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			130
			1号発生回収室系排風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	◎		④			131
		1号均質室系	1号均質室系送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			132
			1号均質室系還気送風機	既設	非安重	常設	第2類	第2類	2 (内子備1)	基	◎		④			133
			分析室送風機	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内子備1)	基	-		④			134

設工認申請設備リスト (12/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
			1号均質室系排風機
	2号発回均質棟系		2号発回均質棟系送風機
			2号発回均質棟系排風機
	1号発生回収室系		1号発生回収室系排気フィルタユニット
			1号発生回収室系選気フィルタユニット
	1号中間室系		1号中間室系排気フィルタユニット
	1号均質室系		1号均質室系排気フィルタユニット
			1号均質室系選気フィルタユニット
	2号発回均質棟系		2号発回均質棟系排気フィルタユニット
	1号均質室系		1号局所排気装置
			1号局所排気フィルタユニット
			1号局所排風機
	2号発回均質棟系		2号局所排気フィルタユニット
			2号局所排風機
	その他		1AB高周波電源室(1GD-V1002上流)～ 1AB高周波電源室(1GD-V1002下流)
			1AB高周波電源室(1GD-V1003上流)～ 1AB高周波電源室(1GD-V1003下流)
			1CD高周波電源室(1GD-V1012上流)～ 1CD高周波電源室(1GD-V1012下流)
			1CD高周波電源室(1GD-V1013上流)～ 1CD高周波電源室(1GD-V1013下流)
			上記以外のダクト
			給気室(1GD-V2013上流)～ 排気室(1GD-V2013下流)

既設/新設	安重/非安重	常設/可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規制基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤:1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第1類	第1類	2 (内予備1)	基	◎		④			135
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内予備1)	基	-		④			136
既設	非安重	常設	第1類	第1類	2 (内予備1)	基	◎		④			137
既設	非安重	常設	第3類	第3類	13 (内予備1)	基	◎		④			138
既設	非安重	常設	第3類	第3類	16 (内予備1)	基	◎		④			139
既設	非安重	常設	第3類	第3類	12 (内予備1)	基	◎		④			140
既設	非安重	常設	第1類	第1類	14 (内予備1)	基	◎		④			141
既設	非安重	常設	第2類	第2類	13 (内予備1)	基	◎		④			142
既設	非安重	常設	第1類	第1類	13 (内予備1)	基	◎		④			143
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		④			144
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内予備1)	基	◎		④			145
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内予備1)	基	◎		④			146
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内予備1)	基	◎		④			147
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2 (内予備1)	基	◎		④			148
既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・1AB高周波電源室	④			149-1
既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・1AB高周波電源室	④			149-2
既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・1CD高周波電源室	④			149-3
既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・1CD高周波電源室	④			149-4
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-		④			149-5
既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・給気室 ・排気室	④			149-6

設工認申請設備リスト (13/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
			給気室(1GD-V2014上流)~ 排気室(1GD-V2014下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・給気室 ・排気室	④			149-7
			給気室(1GD-V2012上流)~ 給気室(1GD-V2012下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・給気室	④			149-8
			更衣エリア(1GD-V2002上流)~ 前室(1GD-V2002下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・更衣エリア ・渡り廊下 ・前室	④			149-9
			放射能測定室(1GD-V2015上流)~ 前室(1GD-V2015下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・放射能測定室 ・渡り廊下 ・前室	④			149-10
			上記以外のダクト	既設	非安重	常設	第3類	第3類	一	式	-		④			149-11
			1号均質室(1GD-V3002上流)~ 1号均質室(1GD-V3002下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・1号均質室	④			149-12
			放管室(1GD-V3014上流)~ モニタエリア(1GD-V3014下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・放管室 ・モニタエリア	④			149-13
			放管室(1GD-V3016上流)~ モニタエリア(1GD-V3016下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・放管室 ・モニタエリア	④			149-14
			放管室(1GD-V3013上流)~ モニタエリア(1GD-V3013下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・放管室 ・モニタエリア	④			149-15
			モニタエリア(1GD-V3019上流)~ 更衣エリア(1GD-V3019下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・モニタエリア ・更衣エリア	④			149-16
			モニタエリア(1GD-V3017上流)~ 分析室(1GD-V3017下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・モニタエリア ・更衣エリア ・分析室	④			149-17
			モニタエリア(1GD-V3018上流)~ 分析室(1GD-V3015下流)	既設	非安重	常設	第1類	第1類	一	式	-	ダンパ含む 設置場所 ・モニタエリア ・更衣エリア ・分析室	④			149-18

設工認申請設備リスト (14/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
			上記以外のダクト
		2号給気ダクト (2号発回均質棟系)	給気室(2GD-V2002上流)～ ホット予備品室1(2GD-V2002下流)
			廃棄物前処理室(2GD-V2003上流)～ カスケード室前室(2GD-V2003下流)
			2号第2高周波電源室(2GD-V2004上流)～ 搬送通路(2GD-V2004下流)
			上記以外のダクト
		1号還気ダクト (1号発生回収室系)	排気室(1GD-V2021上流)～ 給気室(1GD-V2021下流)
			上記以外のダクト
		1号還気ダクト (1号均質室系)	1号均質室～ 1号均質室系還気送風機出口
			上記以外のダクト
		1号局所排気ダクト (1号局所排気系)	排気室(1GD-V3026上流)～ 1号排気ダクト(1号均質室系)取合部
			上記以外のダクト
		2号局所排気ダクト (2号局所排気系)	2号均質槽(A～F)及び2号サンプル小分け装置～ ・2号局所排気フィルタユニット上流 ・2号局所排気装置上流
			上記以外のダクト
		1号排気ダクト (1号中間室系)	1号中間室系排風機A, B, C出口(1GD-V1021-A, B, C)～ 排気口
			上記以外のダクト
		1号排気ダクト (1号発生回収室系)	1号発生回収室系排風機A, B(1GD-V2024-A, B)～ 排気口

既設/新設	安重/非安重	常設/可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤:1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	—		④			149-19
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	—	ダンパ含む 設置場所 ・給気室 ・ホット予備品室1	④			150-1
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	—	ダンパ含む 設置場所 ・廃棄物前処理室 ・カスケード室前室	④			150-2
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	—	ダンパ含む 設置場所 ・2号第2高周波電源室 ・搬送通路	④			150-3
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	—		④			150-4
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・排気室 ・給気室	④			151-1
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			151-2
既設	非安重	常設	第1,2類	第1,2類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・1号均質室 ・分析室 ・搬送通路 ・排気室 ・給気室	④			151-3
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			151-4
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・排気室	④			152-1
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			152-2
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・2号発回均質室 ・搬送通路 ・排気室	④			153-1
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			153-2
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・排気室	④			154-1
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			154-2
既設	非安重	常設	第1類	第1類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・排気室	④			154-3

設工認申請設備リスト (15/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名		既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号	
														(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C		
				上記以外のダクト	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			154-4	
			1号排気ダクト (1号均質室系)	1号均質室 ～ 排気口	既設	非安重	常設	第1,2類	第1,2類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・均質室 ・分析室 ・搬送通路 ・排気室	④			154-5	
				上記以外のダクト	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		④			154-6	
			2号排気ダクト (2号発回均質棟系)	・2号発回均質室 ・2A～2C中間室 ・A～C付着ウラン回収 廃棄物室 ・搬入室 ～ 排気口	既設	非安重	常設	第1,2類	第1,2類	—	式	◎	ダンパ含む 設置場所 ・2号発回均質室 ・2A～2C中間室 ・A～C付着ウラン回収廃棄物室 ・搬入室 ・搬送通路 ・排気室	④			155	
			1号給気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,3類	第1,3類	—	式	-		④			156	
			2号給気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,3類	第1,3類	—	式	-		④			157	
			1号還気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,2,3類	第1,2,3類	—	式	-		④			158	
			1号局所排気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,3類	第1,3類	—	式	-		④			159	
			2号局所排気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,3類	第1,3類	—	式	-		④			160	
			1号排気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,2,3類	第1,2,3類	—	式	-		④			161	
			2号排気ダクトの支持構造物		既設	非安重	常設	第1,2類	第1,2類	—	式	-		④			162	
			排気口		既設	非安重	常設	-	-	—	式	○		④			163	
			IF ₇ ポンベ (保管廃棄用)		既設	非安重	可搬	-	-	27	本	◎			○		164	
			除湿機		既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	室内の空調用 (除湿) であり、閉じ込め等の安全機能へ影響しない。				165	
			差圧計		本計器については、530～533にて管理する。													166
	液体廃棄物の廃棄設備	管理廃水処理設備	洗缶廃水貯槽		既設	非安重	常設	第2類	1G	4	基	◎		⑤			167	
			凝集槽		既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		⑤			168	
			管理廃水処理脱水機		既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		⑤			169	
			脱水ろ液タンク		既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		⑤			170	
			分析廃水ピット		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			171	
			第1 廃水調整ピット		既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎	連通管含む	⑤			172	
			第1 反応タンク		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			173	
			第2 反応タンク		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			174	
			凝集沈殿槽		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			175	
			汚泥タンク		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			176	
			凝沈処理水ピット		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎	連通管含む	⑤			177	

設工認申請設備リスト (16/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			砂ろ過塔	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			178
			管理廃水処理第1活性炭吸着塔	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			179
			マイクロフィルタ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			180
			ろ過器循環タンク	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			181
			ろ過器	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			182
			ろ過器逆洗タンク	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			183
			ろ過水pH調整タンク	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			184
			ろ過器処理水タンク	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			185
			弗素吸着塔	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			186
			ウラン吸着塔	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			187
			イオン交換樹脂塔	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		⑤			188
			中和タンク	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			189
			第1処理水ピット	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎	連通管含む	⑤			190
			再生廃液ピット	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎	連通管含む	⑤			191
			手洗廃水ピット	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			192
			第2廃水調整ピット	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎	連通管含む	⑤			193
			管理廃水処理第2活性炭吸着塔	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		⑤			194
			第2処理水ピット	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎	連通管含む	⑤			195
			凝集槽送水ポンプ	既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		⑤			196
			脱水機凝集液ポンプ	既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		⑤			197
			脱ろ液ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			198
			分析廃水ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		⑤			199
			第1反応タンク送水ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		⑤			200
			管理廃水処理脱水機送泥ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			201
			砂ろ過塔送水ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			202
			ろ過器送水ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			203
			ろ過器逆洗ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			204
			弗素吸着塔送水ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			205
			第1処理水ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			206
			再生廃液ポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			207

設工認申請設備リスト (17/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	
			吸着塔送水ポンプ	
			第2処理水ポンプ	
			2号発回均質室廃水ピット1	
			2号発回均質室廃水ピット2	
			2号発回均質室廃水ピット3	
			2号発回均質室廃水ピット4	
			主要放射性廃水配管(高放射性廃水系)	
			主要放射性廃水配管(上記以外)	
			液体廃棄物保管廃棄区画(中央操作棟)	
			液体廃棄物保管廃棄区画(IF ₅ ポンベ置台)	
			堰	
			主要放射性廃水配管の支持構造物	
			ホットランドリー室廃水タンク(撤去)	
			ホットランドリー室廃水送水ポンプ(撤去)	
			堰(廃止)	
			その他	排水口
			IF ₅ ポンベ置台	
		固体廃棄物の廃棄設備	区画	固体廃棄物保管廃棄区画(既設)
				固体廃棄物保管廃棄区画(新設:Bウラン濃縮廃棄物建屋)
				固体廃棄物保管廃棄区画(RE-1設備存置保管廃棄)
				固体廃棄物保管廃棄区画(旧許可における金属脚遠心機の一時的な保管廃棄場所)
			固体廃棄物用容器	200 ドラム缶
				2000 ドラム缶
			IF ₇ 発生・供給系	IF ₇ ポンベ発生槽
				IF ₇ 圧力調整槽
			回収系	回収系混合ガスコールドトラップ
回収系IF ₇ コールドトラップ				
IF ₇ 回収系ポンベ回収槽				
回収系UF6回収槽				
回収系ケミカルトラップ(NaF)				

既設/新設	安重/非安重	常設/可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		⑤			208
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎		⑤			209
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			210
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			211
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			212
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎		⑤			213
既設	非安重	常設	第2類	1G	—	式	◎		⑤			214
既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		⑤			215
既設	非安重	常設	-	-	1	区画	◎		⑤			216
本機器については、222にて管理する。												
既設	非安重	常設	第2類	第2類	—	式	○		⑤			218
既設	非安重	常設	第2,3類	第2,3類	—	式	-		⑤			219
既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	撤去。既認可の仕様表対象機器を撤去するため、発電炉と同様に仕様表により撤去することを明確化する。	⑤			220-1
既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上	⑤			220-2
既設	非安重	常設	-	-	—	式	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。	⑤			220-3
既設	非安重	常設	-	-	—	式	○		⑤			221
既設	非安重	常設	-	-	215	基	◎	ドレンパン含む		○		222
既設	非安重	常設	-	-	5	区画	○		⑤			223
新設	非安重	常設	-	-	2	区画	-			○		224
新設	非安重	常設	-	-	11	区画	-			○		225
既設	非安重	常設	-	-	1	区画	○	既認可の保管廃棄区画の解除	⑤			226
既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-	固縛対象	⑤			227
既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-	固縛対象	⑤			228
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎			○		229
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎			○		230
既設	非安重	常設	第1類	1G	3	基	◎			○		231
既設	非安重	常設	第1類	1G	3	基	◎			○		232
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎			○		233
既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	搬送台車含む		○		234
既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	ウラン検出器含む		○		235

設工認申請設備リスト (18/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			IF ₅ 回収系ポンベ回収槽	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	-			○		236
		IF ₇ 循環系	IF ₇ 循環コンプレッサ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎			○		237
		排気系	排気系ケミカルトラップ (NaF)	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎	ウラン検出器含む		○		238
			排気系ケミカルトラップ (A1203)	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	◎	冷却用ジャケット含む		○		239
			排気系ロータリポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	基	-			○		240
		バージ系	バージ系IF ₇ コールドトラップ	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	基	◎			○		241
			バージ系ケミカルトラップ (NaF)	既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎	ウラン検出器含む		○		242
			バージ系第1段ケミカルトラップ (A1203)	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎	冷却用ジャケット含む		○		243
			バージ系第2段ケミカルトラップ (A1203)	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	◎	冷却用ジャケット含む		○		244
			バージ系ブースタポンプ	既設	非安重	常設	第1類	1G	2	基	◎			○		245
			バージ系ロータリポンプ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	基	-			○		246
		その他	主要配管 (既設)	既設	非安重	常設	第1,2類	1G	—	式	◎			○		247
			主要配管 (RE-1回収用 増設分)	新設	非安重	常設	第1,2類	1G	—	式	◎			○		248
			主要配管 (RE-2回収用 撤去)	既設	非安重	常設	-	-	—	式	◎	撤去。既認可の仕様表対象機器を撤去するため、発電炉と同様に仕様表により撤去することを明確化する。	⑤			249
			主要配管以外の配管	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	-			○		250
			主要配管の支持構造物	既設	非安重	常設	第1,2類	1G	—	式	○			○		251
			主要配管以外の配管の支持構造物	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	-			○		252
			カバー、シート	新設	非安重	常設	-	-	—	式	-			○		253
			バージ用窒素配管	既設	非安重	常設	-	-	—	式	○			○		254
			冷凍機ユニット、温水ユニット、電気ヒータ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	○	インターロック動作端			○	
子、放射線管理施設	放射線監視・測定設備	放射線監視・測定設備	排気用HFモニタA	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	台	◎			④		256
			排気用HFモニタB	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	台	◎			④		257
			発生回収室換気用モニタ	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	台	◎			④		258
			均質室換気用モニタ	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	台	◎			④		259
			エアスニッファ	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎			④		260
			サーベイメータ	既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-			④		261
			積算線量計(屋内用)	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-			④		262-1
			積算線量計(屋外用)	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-			④		262-2
			ダストサンプラ(屋内用)	既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-			④		263-1
			ダストサンプラ(屋外用)	既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-			④		263-2

設工認申請設備リスト (19/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規制基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			可搬式HF検知警報装置	新設	非安重	可搬	-	-	1	式	-		④			264
			HFセンサ	新設	非安重	常設	①第1類 ②第2類	①1G ②第2類	①25 ②5	台	-		⑤			265-1
			HFセンサ (RE-2B、2C)	新設	非安重	常設	①第1類 ②第2類	①1G ②第2類	①10 ②4	台	-				②	265-2
			排気用モニタA	既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	台	◎		⑤			266
			排気用モニタB	既設	非安重	常設	第1類	第1類	1	台	◎		⑤			267
			モニタリングポスト	既設	非安重	常設	第3類	第3類	3	台	-		④			268
		試料分析関係設備	放射能測定装置	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-		④			269
		個人管理用測定設備	個人線量計	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-		④			270
		出入管理関係設備	ゲート	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-		④			271
			退出モニタ	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-		④			272
			サーベイメータ	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	設工認の設備リストでは、放射線監視・測定設備のサーベイメータを一つにまとめて記載する。	④			273
			シャワー	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-		④			274
		その他の放射線防護設備	放射線防護具類	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-		④			275
		その他	臨界警報装置 (γ線検出器)	既設	非安重	常設	-	-	1	式	○	規則要求(臨界)に該当しないため、設置していることのみを基本設計方針に記載する。	④			276
		放出管理分析設備	放射能測定装置	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	設工認の設備リストでは放射能測定装置を一つにまとめて記載する(No. 269と同じ)。	④			277
		試料分析関係設備	放射能測定装置	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	設工認の設備リストでは放射能測定装置を一つにまとめて記載する(No. 269と同じ)。	④			278
			気象観測機器	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-		④			279
			放射能観測車	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-		④			280
リ、その他の加工施設	非常用設備	自動火災報知設備	自動火災報知設備	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	◎	申請済み	③			281
			自動火災報知設備 (均質槽防護カバー内の感知器の新設)	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	警報機能等が対象となるが、発電炉において要目表対象としていないため、基本設計方針とする。	⑤			282-1
			自動火災報知設備 (RE-2B、2Cの感知器の新設)	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	警報機能等が対象となるが、発電炉において要目表対象としていないため、基本設計方針とする。		②		282-2
			自動火災報知設備 (新設：Bウラン濃縮廃棄物建屋)	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上		○		283
		その他	温度センサ	新設	非安重	常設	第1類	1G	22	台	-		⑤			284-1
			温度センサ (RE-2B、2C)	新設	非安重	常設	第1類	1G	8	台	-			②		284-2
		消火設備	消火器	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	◎		④			285
			消火器 (新設：Bウラン濃縮廃棄物建屋)	新設	非安重	可搬	-	-	1	式	-		○			286
			消火設備	既設	非安重	常設	-	-	1	式	◎		④			287
			屋外消火栓設備	既設	非安重	常設	-	-	1	式	◎		④			288
			遠隔消火設備	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-		⑤			289-1
			遠隔消火設備 (RE-2B、2C)	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-			②		289-2

設工認申請設備リスト (20/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号	
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C		
	その他		火災防護板	新設	非安重	常設	-	-	1	式	-	冷凍機ユニットに貼り付ける石膏ボードであり、設備ではない。	④			290	
			防火水槽	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	設置個数をまとめて一式として取り扱う。	④			291	
			防火壁	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○		①、②、③			292	
			防火扉	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○		①、②、③			293	
			防火シャッター	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○		①、②、③			294	
			防火帯	新設	非安重	常設	-	-	1	式	○	申請済み	③				295
			防火区画 (新設：Bウラン濃縮廃棄物建屋)	新設	非安重	常設	-	-	1	式	-			○			296
			難燃性ケーブル	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-			②、③、④、⑤	○	①、②	297
		非常用電源設備	ディーゼル発電機	既設	非安重	常設	第2類	第2類	2	基	◎	申請済み	②				298
			1号無停電電源装置	既設	非安重	常設	第2類	第2類	4	台	◎		④				299
			2号無停電電源装置	既設	非安重	常設	第2類	第2類	6	台	◎		④				300
			直流電源設備 (蓄電池盤)	既設	非安重	常設	第2類	第2類	2	台	◎		④				301
			直流電源設備 (充電器盤)	既設	非安重	常設	第2類	第2類	3	台	◎		④				302
			1号直流電源設備 (蓄電池盤)	既設	非安重	常設	-	-	2	台	◎	撤去。本機器が撤去され直流電源設備 (蓄電池盤) に機能が統合される。統合されることを仕様表で示す。	④				303
			1号直流電源設備 (充電器盤)	既設	非安重	常設	-	-	2	台	◎	撤去。本機器が撤去され直流電源設備 (充電器盤) に機能が統合される。統合されることを仕様表で示す。	④				304
			2号直流電源設備 (蓄電池盤)	既設	非安重	常設	-	-	2	台	◎	撤去。本機器が撤去され直流電源設備 (蓄電池盤) に機能が統合される。統合されることを仕様表で示す。	④				305
			2号直流電源設備 (充電器盤)	既設	非安重	常設	-	-	2	台	◎	撤去。本機器が撤去され直流電源設備 (充電器盤) に機能が統合される。統合されることを仕様表で示す。	④				306
	ディーゼル発電機制御盤		既設	非安重	常設	第2類	第2類	2	基	-	申請済み	②				307	
	燃料サービスタンク		既設	非安重	常設	第2類	第2類	2	基	-	同上	②				308	
	屋外軽油タンク		既設	非安重	常設	第2類	第2類	2	基	-	同上	②				309	
	燃料移送ポンプ		既設	非安重	常設	第2類	第2類	2	基	-	同上	②				310	
	燃料配管		既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	-	同上	②				311	
	ディーゼル発電機を自動起動させる機能 (遮断器、継電器等)		既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上	②				312	
	ディーゼル発電機補機系統 (加熱器)		既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上	②				313	
	ディーゼル発電機補機系統 (その他)		既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上	②				314	
	非常用高圧母線	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上	②				315		
	核燃料物質の検査設備	質量分析装置	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	台	○	同上	①				316	
		高周波プラズマ発光分光分析装置	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	①				317	
		スクラバ付きドラフトチェンバ	既設	非安重	常設	第2類	第2類	14	台	◎	同上	①				318	
		カリフォルニア型フード	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	台	◎	同上	①				319	

設工認申請設備リスト (21/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			サンプル保管戸棚	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	台	◎		⑤			320
			主要分析ダクト	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	○	申請済み	①			321
			発光分光装置	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	①			322
			高周波プラズマ質量分析装置	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	①			323
			赤外分光分析装置	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	①			324
			分析室流し台	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	台	-	同上	①			325
			吸光度計	既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-	同上	①			326
	核燃料物質の計量設備	-	秤量計	既設	非安重	常設	第1類	第1類	2	台	◎		⑤			327
	その他の主要な設備	管理廃水処理設備	試薬貯留タンク	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	核燃料物質を取り扱わないタンク、ポンプであり、閉じ込め等の安全機能に係らない。				328
			送液ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	同上				329
		洗缶設備	洗缶架台	既設	非安重	常設	第2類	1G	1	基	◎		⑤			330
			洗缶蒸気発生器	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			331
			洗缶排気プロア	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			332
			洗缶ケミカルトラップ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			333
			洗缶排気用モニタ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			334
			洗缶空気加熱器	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			335
			洗缶水圧試験廃水ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			336
			洗缶凝縮器廃水ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			337
			洗缶廃水ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-		⑤			338
			チェーンブロック	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	設計、工事を伴わない汎用の可搬式の資機材であり、保安規定または下部要領で管理。				339
		除染設備	除染ハウス	既設	非安重	常設	第3類	第3類	—	式	◎		⑤			340
			除染排気処理装置	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	基	◎		⑤			341
			除染排風機	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	基	◎		⑤			342
			主要除染ダクト	既設	非安重	常設	第2類	第2類	—	式	◎		⑤			343
			ドライクリーニング装置	既設	非安重	常設	-	-	1	台	◎	既認可の仕様表対象機器を撤去するため、発電炉と同様に仕様表により撤去することを明確化する。	⑤			344
			チェーンブロック	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-	設計、工事を伴わない汎用の可搬式の資機材であり、保安規定または下部要領で管理。				345
		通信連絡設備	ページング装置	既設	非安重	常設	-	-	—	式	-		⑤			346
			所内携帯電話	既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-		⑤			347
			業務用無線設備	既設	非安重	可搬	-	-	—	式	-		⑤			348

設工認申請設備リスト (23/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号	
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C		
		その他	地震警報装置	新設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上	③			379	
	建物	-	ウラン濃縮建屋 中央操作棟	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	①、②、③			380	
			ウラン濃縮建屋 1号発回均質棟	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	同上	③				381
			ウラン濃縮建屋 2号発回均質棟	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	同上	③				382
			ウラン濃縮建屋 1号カスケード棟	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				383
			ウラン濃縮建屋 2号カスケード棟	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				384
			ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Aウラン貯蔵庫	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	同上	③				385
			ウラン貯蔵・廃棄物建屋 Bウラン貯蔵庫	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	同上	③				386
			ウラン貯蔵・廃棄物建屋 ウラン貯蔵・廃棄物庫	既設	非安重	常設	第1類	1G	1	式	◎	同上	③				387
			ウラン貯蔵・廃棄物建屋 搬出入棟	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				388
			Aウラン濃縮廃棄物建屋	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				389
			Bウラン濃縮廃棄物建屋	新設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	-				○		390
			使用済遠心機保管建屋	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	申請済み	③				391
			補助建屋	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	②、③				392
			渡り廊下 (中央操作棟-ウラン濃縮・廃棄物建屋間)	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				393
			渡り廊下 (中央操作棟-補助建屋間)	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				394
			渡り廊下 (中央操作棟-2号発回均質棟間)	既設	非安重	常設	第2類	第2類	1	式	◎	同上	③				395
	重大事故等対処資機材	現場対処用資機材・ 装備品	汚染防護服 (PVA)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	設計、工事を伴わない汎用の可搬式の資機材であり、保安規定または下部要領で管理。				396	
			化学防護服 (簡易型)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					397
			化学防護服 (耐HF仕様)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					398
			フィルター付き防護マスク (片面)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					399
			フィルター付き防護マスク (全面)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					400
			呼吸用ボンベ付一体型防護マスク	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					401
			化学防護服用マイクスピーカ	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					402
			携帯用照明器具	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					403
			ガンマ線測定用サーベイメータ	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					404
			表面汚染密度測定用サーベイメータ (α、β線)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					405
			可搬式ダスト測定関連機器 (サンブラ)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					406
			個人用外部被ばく線量測定器 (APD)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					407
			モニタリングカー	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上					408

設工認申請設備リスト (24/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			風向風速計	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				409
			半導体材料ガス検知器 (HF検知器)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				410
			ガス採取器	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				411
		その他	2号発回均質室前シャッター前カーテン	新設	非安重	常設	-	-	1	式	-	事故時に使用するカーテンであり、保安規定または下部要領で管理。				412
			2号発回均質室監視カメラ	既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	事故時に使用する汎用のカメラであり、保安規定または下部要領で管理。				413
		応急・復旧工具等 その他資機材	閉止用資材 (パテ、木栓、鉛栓、ビニルシート)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	設計、工事を伴わない汎用の可搬式の資機材であり、保安規定または下部要領で管理。				414
			消石灰	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				415
			消石灰散布機	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				416
			担架	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				417
			除染用具 (ハンドブラシ等)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				418
			発電機	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				419
			電工ドラム	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				420
			照明装置	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				421
			チェンジングルーム	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				422
			HF対応薬品	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				423
		消防用資機材・装備品	防火服	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				424
			空気呼吸器	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				425
			携帯用照明器具	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				426
			個人用外部被ばく線量測定器 (APD)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				427
			サーモグラフィ	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				428
			消防自動車 (化学消防自動車)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				429
			消火用水	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				430
			屋上放水装置	新設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				431
			泡消火剤	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				432
		再処理事業所	防火服	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				433
			空気呼吸器	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				434
			携帯用照明器具	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				435
			消防自動車 (化学消防自動車)	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				436
			資機材搬送車	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				437
			緊急搬送車	既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				438

設工認申請設備リスト (25/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
			泡消火剤
	その他付属機器等	付属機器等	接続管
			トレーラ
			輸送容器
			受け入れ架台
			48Yシリンダ用置台 (検査等用)
			30Bシリンダ用置台 (検査等用)
			48Yシリンダ用置台 (空)
			30Bシリンダ用置台 (空)
			天井走行クレーン (空シリンダ用)
			48Yシリンダ用仮置台
			30Bシリンダ用仮置台
			HFトラップ
			危険物・薬品貯蔵庫
			移動式バージセット
			サンブラ
			圧力計校正装置
			排気装置
			アルミナトラップ付排気装置(機器分解用)
			アルミナトラップ付排気装置(各容器洗缶後のHF捕集用)
			秤
			排気カート
			吸引ユニット
			ファイバースコープ
ロ、濃縮施設 (インターロック)	カスケード設備	主要配管 (RE-2A)	圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック
			■■■■ (製品濃縮度)
			■■■■ (製品濃縮度)
			■■■■ (製品濃縮度)
			製品濃縮度測定装置

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				439
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	設計、工事を伴わない汎用の可搬式の資機材であり、保安規定または下部要領で管理。				440
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	加工施設外から一時的に入域するシリンダ輸送用のトレーラであり、外運搬規則で対応。				441
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	輸送容器であり、外運搬規則で対応。				442
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	外部からのシリンダ受け入れ作業時の仮置き台であり、保安規定または下部要領で管理。				443
既設	非安重	常設	-	-	20	組	-	同上				444
既設	非安重	常設	-	-	2	組	-	同上				445
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	空のシリンダの置き台であり、保安規定または下部要領で管理。				446
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	空のシリンダの置き台であり、保安規定または下部要領で管理。				447
既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	空のシリンダ用のクレーンであり、保安規定または下部要領で管理。				448
既設	非安重	常設	-	-	3	組	-	作業時のシリンダの一時的な仮置き台であり、保安規定または下部要領で管理。				449
既設	非安重	常設	-	-	2	組	-	同上				450
既設	非安重	常設	-	-	5	基	-	機能を見込んでいない自主設置機器であるが、系統図上で設置していることを添付書類に記載。	④			451
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	申請済み	③			452
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	汎用の可搬式の資機材であり、保安規定または下部要領で管理。				453
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				454
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				455
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				456
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				457
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				458
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				459
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				460
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				461
既設	非安重	可搬	-	-	1	式	-	同上				462
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。	④			463
					2	台						
					2	台						
					2	台						

設工認申請設備リスト (26/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
	UF ₆ 処理設備	主要配管 (RE-2B, 2C)	地震発生時のカスケード排気のインターロック	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④			464
			地震計 (水平)						6	台						
			地震計 (鉛直)						6	台						
			圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック						1	式						
			██████████ (製品濃縮度)						各2	台						
			██████████ (製品濃縮度)						各2	台						
		██████████ (製品濃縮度)	各2	台												
		製品濃縮度測定装置	2 (2A共用)	台												
		地震発生時のカスケード排気のインターロック	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	②	466			
		地震計 (水平)						6 (2A共用)	台							
		地震計 (鉛直)						6 (2A共用)	台							
		UF ₆ 処理設備	発生槽	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④		
	原料シリンダ内圧力計			7						台						
	発生槽内温度計			7						台						
	地震発生時の加熱停止のインターロック			1						式						
	地震計 (水平)			6 (2Aカスケード共用)						台						
	地震計 (鉛直)			6 (2Aカスケード共用)						台						
	温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック		既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④	469			
	温水ユニット温度計							2	台							
	製品コールドトラップ		圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			470
			製品コールドトラップ内圧力計						4	台						
			製品コールドトラップ内温度計						4	台						
			地震発生時の加熱停止のインターロック						1	式						
		地震計 (水平)	6 (2Aカスケード共用)						台							
地震計 (鉛直)		6 (2Aカスケード共用)	台													
製品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④	472					
製品ガス移送ヘッダ圧力計						2	台									
製品回収槽	重量異常高による過充填防止のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④	473				
	シリンダ重量計						4	台								

設工認申請設備リスト (27/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
		廃品コールドトラップ (RE-2A)	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック
			2A廃品コールドトラップ内圧力計
			2A廃品コールドトラップ内温度計
			地震発生時の加熱停止のインターロック
			地震計 (水平)
			地震計 (鉛直)
			廃品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック
		廃品ガス移送ヘッダ圧力計	
		廃品コールドトラップ (RE-2B, 2C)	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック
			2B, 2C廃品コールドトラップ内圧力計
			2B, 2C廃品コールドトラップ内温度計
			地震発生時の加熱停止のインターロック
			地震計 (水平)
			地震計 (鉛直)
			廃品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック
		廃品ガス移送ヘッダ圧力計	
		廃品回収槽	重量異常高による過充填防止のインターロック
			シリンダ重量計
			廃品回収槽回収停止による待機槽回収開始インターロック
		捕集排気系ロータリポンプ	ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロック
		カスケード排気系ロータリポンプ	ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロック
		カスケード排気系ロータリポンプ (RE-2B, 2C)	ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロック
		一般バージ系コールドトラップ	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック
			2号一般バージ系コールドトラップ内圧力計
			2号一般バージ系コールドトラップ内温度計
			地震発生時の加熱停止のインターロック
		地震計 (水平)	
地震計 (鉛直)			

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			474
					4	台						
					4	台						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④			475
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④			476
					2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上			②	477
					各4	台						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上			②	478
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上			②	479
					各2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④		②	480
					8、3(2B)、3(2C)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④		②	481
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			482
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			483
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上			②	484
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			485
					3	台						
					3	台						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④			486
					6(2Aカスケード共用)	台						
					6(2Aカスケード共用)	台						

設工認申請設備リスト (28/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号						
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C							
均質・ブレンディング設備	均質槽	一般バージ系ロータリポンプ	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック	新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	④、⑤ (均プレ設備(原料シリンドラ槽、均質槽F)は⑤)			487						
			原料シリンドラ槽入口圧力計						1	台												
			均質槽入口圧力計						1	台												
		ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④				488						
		工程用モニタHF濃度高によるUF ₆ 漏えい拡大防止のインターロック(緊急遮断弁閉,加熱停止)						1	式								○	同上	⑤			489
		2号工程用モニタ						1	式													
		減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック	1	式																		
		減圧槽内圧力計	既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	台	-	同上	⑤	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。			490						
		入口配管温度計						1	台													
		2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック						1	式													
		均質槽内圧力異常高による運転停止のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	6	台	○	同上	⑤				492						
		均質槽内圧力計						6	台													
		圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(液化)	既設	非安重	常設	第3類	第3類	12	台	○	同上	⑤				493						
		中間製品容器内圧力計						6	台													
		均質槽内温度計						6	台													
		圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(大気圧未満で取扱う場合)	既設	非安重	常設	第3類	第3類	12	台	-	同上	⑤				494						
		中間製品容器内圧力計						6	台													
		均質槽内温度計						6	台													
		UF ₆ シリンドラ類交換時の誤操作防止のインターロック	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤				495						
		地震発生時のUF ₆ 漏えい防止インターロック(緊急遮断弁閉,加熱停止)						1	式													
		地震計(水平)						6(2Aカスケード共用)	台													
		地震計(鉛直)	新設	非安重	常設	第3類	第3類	6(2Aカスケード共用)	台	-	同上	⑤				496						
		重量異常高による過充填防止のインターロック						6	台													
		シリンドラ重量計	既設	非安重	常設	第3類	第3類	6	台	○	同上	⑤				497						
		回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック						1	式													
		製品シリンドラ槽入口圧力計						6	台													
		均質槽入口圧力計	新設	非安重	常設	第3類	第3類	4	台	-	同上	⑤				498						
		製品シリンドラ槽内圧力計						1(F槽のみ)	台													
		製品シリンドラ槽内温度計						1(F槽のみ)	台													
		製品シリンドラ槽	既設	非安重	常設	第3類	第3類	1(F槽のみ)	台	○	同上	⑤				499						
製品シリンドラ槽内圧力計	1(F槽のみ)	台																				
製品シリンドラ槽内温度計	1(F槽のみ)	台																				

設工認申請設備リスト (29/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
			地震発生時の加熱停止のインターロック
			地震計 (水平)
			地震計 (鉛直)
			重量異常高による過充填防止のインターロック
			シリンダ重量計
			回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック
			均質槽入口圧力計
			製品シリンダ槽入口圧力計
		原料シリンダ槽	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック
			原料シリンダ/廃品シリンダ内圧力計
			原料シリンダ槽内温度計
			地震発生時の加熱停止のインターロック
			地震計 (水平)
			地震計 (鉛直)
			重量異常高による過充填防止のインターロック
			シリンダ重量計
		サンプル小分け装置	工程用モニタHF濃度高によるUF ₆ 漏えい拡大防止のインターロック (加熱停止)
			2号工程用モニタ
			2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック
			サンプルシリンダ圧力異常高又は小分け装置温度異常高による加熱停止のインターロック
			サンプルシリンダ内圧力計
			加熱箱温度計
			地震発生時の加熱停止のインターロック
			地震計 (水平)
		地震計 (鉛直)	
		工程用モニタ	工程用モニタHF濃度高によるUF ₆ 漏えい拡大防止のインターロック
			2号工程用モニタ

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	⑤			500
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	6	台	○	同上	⑤			501
					1	式						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	4	台	-	同上	⑤			502
					1	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	⑤			503
					1	台						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	6(2Aカスケード共用)	台	-	同上	⑤			504
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	⑤			505
					1	式						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	2	台	-	同上	⑤			506
					1	式						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	⑤			507
本機器については、70にて管理する。												
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。	⑤			508
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	台	○	同上	⑤			509
					1	台						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	6(2Aカスケード共用)	台	-	同上	⑤			510
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上	⑤			511
本機器については、70にて管理する。												

設工認申請設備リスト (30/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	
ヘ、核燃料物質の貯蔵施設 (インターロック)	2号局所排気装置	2号局所排気装置	工程用モニタUF濃度高によるUF ₆ 漏えい拡大防止のインターロック (ダンパ閉によるUF ₆ 閉じ込め)	
			2号工程用モニタ	
			地震発生時のUF ₆ 漏えい防止インターロック (ダンパ閉によるUF ₆ 閉じ込め)	
			地震計 (水平)	
		地震計 (鉛直)		
		減圧槽	減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック	
			減圧槽内圧力計	
			入口配管温度計	
		均質バージ系コールドトラップ	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	
			均質バージ系コールドトラップ内圧力計	
			均質バージ系コールドトラップ内温度計	
			地震発生時の加熱停止のインターロック	
			地震計 (水平)	
			地震計 (鉛直)	
	均質バージ系ロータリポンプ	ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロック		
		均質バージ系ロータリポンプ		
		均質バージ系ロータリポンプ		
	高周波電源設備	高周波インバータ装置 (RE-2A前半)	遠心機過回転防止機能	
		高周波インバータ装置 (RE-2A後半)	遠心機過回転防止機能	
		高周波インバータ装置 (RE-2B, 2C)	遠心機過回転防止機能	
	ト、放射性廃棄物の廃棄施設 (インターロック)	気体廃棄物の廃棄設備	天井走行クレーン (A, B, C, D, E, G)	吊り上げ高さインターロック (1.2m)
				停電時のシリンダ保持機能
			天井走行クレーン (H, I, J, K, L, M, N, O, P)	吊り上げ高さインターロック (1.85m)
				停電時のシリンダ保持機能
均質室天井走行クレーン			吊り上げ高さインターロック (1.2m)	
			停電時のシリンダ保持機能	
2号発回均質室天井走行クレーン			吊り上げ高さインターロック (1.2m)	
			停電時のシリンダ保持機能	
1号中間室系排風機			第1種管理区域の排気機能維持	
			負圧計 (第1種管理区域)	

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。	⑤			512
本機器については、70にて管理する。												
新設	非安重	常設	第3類	第3類	6(2Aカスケード共用)	台	-	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。	⑤			513
既設	非安重	常設	第3類	第3類	6(2Aカスケード共用)	台	-	同上	⑤			514
既設	非安重	常設	第3類	第3類	2	台	○	同上	⑤			515
新設	非安重	常設	第3類	第3類	6(2Aカスケード共用)	台	-	同上	⑤			516
新設	非安重	常設	第3類	第3類	2	台	-	同上	⑤			517
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			518
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	申請済み	③			519
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。			①	520
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上			②	521
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			522
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			523
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			524
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			525
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			526
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			527
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			528
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			529
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			530
既設	非安重	常設	第3類	第3類	5	台	○	同上				530

設工認申請設備リスト (31/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
		1号発生回収室系排風機	第1種管理区域の排気機能維持
			負圧計 (第1種管理区域)
		1号均質室系排風機	第1種管理区域の排気機能維持
			負圧計 (第1種管理区域)
		2号発回均質棟系排風機	第1種管理区域の排気機能維持
			負圧計 (第1種管理区域)
		2号局所排風機	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック
	液体廃棄物の廃棄設備	凝集槽	受入れ停止による漏えい防止機能
			凝集槽液位計
		脱水ろ液タンク	受入れ停止による漏えい防止機能
			脱水ろ液タンク液位計
		分析廃水ピット	漏えい防止機能 (廃水液面異常高警報)
			分析廃水ピット液位スイッチ
		第1廃水調整ピット	漏えい防止機能 (廃水液面異常高警報)
			第1 廃水調整ピット液位計
	汚泥タンク	受入れ停止による漏えい防止機能	
		汚泥タンク液位計	
固体廃棄物の廃棄設備	回収系混合ガスコールドトラップ	圧力異常高又は内温度異常高による加熱停止のインターロック	
		回収系混合ガスコールドトラップ内圧力計	
		回収系混合ガスコールドトラップ内温度計	
		地震発生時の加熱停止のインターロック	
	地震計 (水平)		
		地震計 (鉛直)	
	回収系IF ₇ コールドトラップ	圧力異常高により冷却運転に切り替えるインターロック	
		回収系IF ₇ コールドトラップ内圧力計	
	回収系UF ₆ 回収槽	圧力異常高又は内温度異常高による加熱停止のインターロック	
		付着ウラン回収容器内圧力計	
回収系UF ₆ 回収槽内温度計			

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎:仕様表 ○:その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤:1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①:RE-2A ②:RE-2B, 2C	
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			531
					7	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			532
					8	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	④			533
					8	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上。また、本INTは均質ブレンディング設備の停止に係るインターロックであるため、5回申請にて申請するインターロックに含める。	⑤			534
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	既認可と同様に各機器の仕様表でインターロックを設置することを明確にするとともに、検出端を有するものは検出範囲等を別途仕様表で示す。	⑤			535
					2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			536
					2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			537
					2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			538
					2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上	⑤			539
					2	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上		○		540
					3	台						
					3	台						
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上		○		541
					6(2Aカスケード共用)	台						
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上		○		542
					3	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上		○		543
					1	台						
					1	台						

設工認申請設備リスト (32/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名
			地震発生時の加熱停止のインターロック
			地震計 (水平)
			地震計 (鉛直)
			重量異常高による過充填防止のインターロック
			シリンダ重量計
	バージ系IF ₇ コールドトラップ		圧力異常高により冷却運転に切り替えるインターロック
			バージ系IF ₇ コールドトラップ内圧力計
ロ、濃縮施設 (生産系インターロック)	カスケード設備	生産系インターロック	カスケードの合流部の圧力が上昇した場合に、UF ₆ の供給及び回収を停止するインターロック
			カスケード内の圧力が上昇した場合に、UF ₆ の供給及び回収を停止し当該カスケードを隔離するインターロック
			外部電源喪失時に、電源喪失の時間に応じてUF ₆ の供給及び回収を停止又はカスケード排気系によりUF ₆ を排気するインターロック
			UF ₆ 処理設備の機器異常時に、UF ₆ の供給及び回収を停止するインターロック
			空気作動弁への空気の供給が低下した場合に、UF ₆ の供給及び回収を停止するインターロック
			高周波電源設備の故障時に、カスケード排気系によりUF ₆ を排気するインターロック
			UF ₆ 処理設備
	発生槽の温水ユニットの温水温度が低下した場合に、発生槽の加熱を停止するインターロック		
	カスケード設備の生産が停止した場合に、発生槽の加熱を停止するインターロック		
	発生槽の圧力制御異常により配管圧力が上昇した場合に、発生槽からの原料UF ₆ の供給を停止するインターロック		
	製品回収槽及び廃品回収槽の故障により回収が停止した場合に、製品コールドトラップ及び廃品コールドトラップの加熱を停止するインターロック		
	均質・ブレンディング設備	ラインヒータの故障により配管温度が低下した場合に、当該槽の加熱、捕集等を停止するインターロック	
	槽間のガス移送時に回収側の槽の故障により回収が停止した場合に、移送元の槽の発生を停止するインターロック		
	均質バージ系コールドトラップの重量が異常となった場合に、コールドトラップの冷却を停止するインターロック		
外部電源喪失時に、全ての槽の運転を停止するインターロック			
ト、放射性廃棄物の廃棄施設 (生産系インターロック)	固体廃棄物の廃棄設備		ラインヒータの故障により配管温度が低下した場合に、当該槽の加熱、捕集等を停止するインターロック
			IF ₇ ポンプ発生槽のIF ₇ ポンプ圧力が上昇した場合に、自動的に電気ヒータの加熱を停止するインターロック
			IF ₇ 圧力調整槽入口圧力が上昇した場合に、自動的にIF ₇ 循環コンプレッサの運転を停止するインターロック
評価・解析	-	内部火災	内部火災影響評価 (火災ハザード解析)
		外部火災	外部火災影響評価

既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
									(1) 新規制基準への適合に係る施設の変更 (①~⑤：1~5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
新設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	-	同上		○		544
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上		○		545
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	第3類	第3類	1	式	○	同上		○		546
					6(2Aカスケード共用)	台						
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	通常の運転制御として設備を安定的に停止させる以下のインターロック。				547
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				548
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				549
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				550
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				551
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				552
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	閉じ込めの機能に直接又は補完的に作用するインターロックではなく、通常の運転制御として設備を安定的に停止させるインターロック。				553
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				554
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				555
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				556
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				557
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				558
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				559
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				560
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				561
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				562
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				563
既設	非安重	常設	-	-	1	式	-	同上				564
-	-	-	-	-	-	-	-		⑤			565
-	-	-	-	-	-	-	-	申請済み	③			566

設工認申請設備リスト (33/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
		溢水	溢水影響評価	-	-	-	-	-	-	-	-		⑤			567
		竜巻	竜巻影響評価 (建物)	-	-	-	-	-	-	-	-	申請済み	③			568
		竜巻	竜巻影響評価 (防護板、公道車両)	-	-	-	-	-	-	-	-		⑤			569
		火山	火山影響評価	-	-	-	-	-	-	-	-	申請済み	③			570
		遮蔽	被ばく評価	-	-	-	-	-	-	-	-		⑤			571
保管廃棄	-	-	金属胴遠心分離機、主要配管 (RE-1A)	既設	非安重	常設	-	-	■、一	台、式	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		572
			金属胴遠心分離機、主要配管 (RE-1B～1D)	既設	非安重	常設	-	-	■、一	台、式	◎	遠心機の付着ウランを回収するため、基本設計方針で廃棄施設へ変更。付着ウラン回収後に保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		573
			1号UF6処理設備、1号均質・ブレンディング設備の主要配管	既設	非安重	常設	-	-	一	式	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		574
			1A廃品第1段コンプレッサ	既設	非安重	常設	-	-	19	基	◎	同上		○		575
			1Aカスケード排気系プースタポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		576
			1Aカスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		577
			1Aカスケード排気系ケミカルトラップ (A1203) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		578
			1Aカスケード排気系ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		579
			1Aカスケード排気系補助ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				580
			1Aカスケード排気系HFトラップ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				581
			1Aカスケード排気系ウラン検出器 (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				582
			1A中間室廃水ピット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		583
			1A中間室廃水ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				584
			1号Qマス室空調機	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				585
			1B廃品第1段コンプレッサ	既設	非安重	常設	-	-	19	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		586
			1Bカスケード排気系プースタポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		587
			1Bカスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		588
			1Bカスケード排気系ケミカルトラップ (A1203) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		589
			1Bカスケード排気系ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		590
			1Bカスケード排気系補助ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				591
1Bカスケード排気系HFトラップ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				592			
1Bカスケード排気系ウラン検出器 (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				593			
1C廃品第1段コンプレッサ	既設	非安重	常設	-	-	19	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		594			
1Cカスケード排気系プースタポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		595			
1Cカスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		596			

設工認申請設備リスト (34/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			1Cカスケード排気系ケミカルトラップ (A1203) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		597
			1Cカスケード排気系ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		598
			1Cカスケード排気系補助ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				599
			1Cカスケード排気系HFトラップ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				600
			1Cカスケード排気系ウラン検出器 (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				601
			1D廃品第1段コンプレッサ	既設	非安重	常設	-	-	19	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		602
			1Dカスケード排気系ブースタポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		603
			1Dカスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		604
			1Dカスケード排気系ケミカルトラップ (A1203) (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		605
			1Dカスケード排気系ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		606
			1Dカスケード排気系補助ロータリポンプ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				607
			1Dカスケード排気系HFトラップ (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				608
			1Dカスケード排気系ウラン検出器 (CS系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				609
			中間室チェーンブロック	既設	非安重	常設	-	-	14	基	-	同上				610
			質量分析装置	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		611
			1号発生回収室廃水ピット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		612
			1号発生回収室廃水ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				613
			1号発生槽	既設	非安重	常設	-	-	5	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		614
			1号原料発生系温水ユニット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				615
			1号原料発生系温水浄水器	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				616
			1号圧力調整槽	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		617
			1号製品コールドトラップ	既設	非安重	常設	-	-	4	基	◎	同上		○		618
			1号製品冷凍機ユニット	既設	非安重	常設	-	-	4	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				619
			1号製品回収槽	既設	非安重	常設	-	-	4	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		620
			1号廃品第2段コンプレッサ	既設	非安重	常設	-	-	8	基	◎	同上		○		621
			1号廃品系温水ユニット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				622
			1号廃品系温水浄水器	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				623
			1号廃品回収槽	既設	非安重	常設	-	-	5	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		624
			1号廃品系低温水ユニット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				625
			1号廃品系低温水浄水器	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				626

設工認申請設備リスト (35/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			1号捕集排気系ケミカルトラップ (NaF)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		627
			1号捕集排気系ケミカルトラップ (A1203)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		628
			1号捕集排気系ロータリポンプ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		629
			1号捕集排気系ウラン検出器	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				630
			1号一般バージ系ブースタポンプ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		631
			1号一般バージ系コールドトラップ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		632
			1号一般バージ系冷凍機ユニット	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				633
			1号一般バージ系ケミカルトラップ (NaF)	既設	非安重	常設	-	-	3	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		634
			1号一般バージ系ケミカルトラップ (A1203)	既設	非安重	常設	-	-	3	基	◎	同上		○		635
			1号一般バージ系ロータリポンプ	既設	非安重	常設	-	-	3	基	◎	同上		○		636
			1号一般バージ系ウラン検出器	既設	非安重	常設	-	-	3	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				637
			1号一般バージ系排気ユニット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				638
			1号NaF処理槽	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		639
			1号NaF処理ブースタポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		640
			発生回収室チェーンブロック	既設	非安重	常設	-	-	9	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				641
			1号均質槽	既設	非安重	常設	-	-	7	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		642
			1号製品シリンダ槽	既設	非安重	常設	-	-	6	基	◎	同上		○		643
			1号原料シリンダ槽	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		644
			サンプル小分け装置	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		645
			1号サンプル小分け装置フード	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		646
			1号均質バージ系コールドトラップ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		647
			1号均質バージ系冷凍機ユニット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				648
			1号均質バージ系ブースタポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		649
			1号均質バージ系ケミカルトラップ (NaF)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		650
			1号均質バージ系ウラン検出器	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				651
			1号均質バージ系ロータリポンプ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		652
			1号均質バージ系ケミカルトラップ (A1203)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		653
			1号減圧槽	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		654
			均質室チェーンブロック	既設	非安重	常設	-	-	4	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				655
			C型サンプルシリンダ	既設	非安重	常設	-	-	30	基	-	同上				656

設工認申請設備リスト (36/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			液体サンプルシリンダ	既設	非安重	常設	-	-	8	基	-	同上				657
			1号カスケード排気系ブースタポンプ (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		658
			1号カスケード排気系ケミカルトラップ (NaF) (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		659
			1号カスケード排気系ケミカルトラップ (A1203) (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	◎	同上		○		660
			1号カスケード排気系ロータリポンプ (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		661
			1号カスケード排気系補助ロータリポンプ (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				662
			1号カスケード排気系HFトラップ (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				663
			1号カスケード排気系ウラン検出器 (CB系)	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				664
			工程用モニタ	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。		○		665
			UF6処理設備 主要配管	既設	非安重	常設	-	-	—	式	◎	同上		○		666
			均質・ブレンドング設備 主要配管	既設	非安重	常設	-	-	—	式	◎	同上		○		667
			除染廃水ピット	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		668
			除染廃水ポンプ	既設	非安重	常設	-	-	1	基	◎	同上		○		669
			1Aカスケード系計装盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				670
			1Aカスケード系変換器盤	既設	非安重	常設	-	-	6	基	-	同上				671
			1Aカスケード系端子盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				672
			1Aカスケード電動弁分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				673
			1A廃品第1段コンプレッサ電源盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				674
			1A廃品第1段コンプレッサ振動監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				675
			1A廃品第1段コンプレッサ連続監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				676
			1Bカスケード系計装盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				677
			1Bカスケード系変換器盤	既設	非安重	常設	-	-	6	基	-	同上				678
			1Bカスケード系端子盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				679
			1Bカスケード系増設用中継端子箱	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				680
			1Bカスケード電動弁分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				681
			1B廃品第1段コンプレッサ電源盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				682
			1B廃品第1段コンプレッサ振動監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				683
			1B廃品第1段コンプレッサ連続監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				684
			1Cカスケード系計装盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				685
			1Cカスケード系変換器盤	既設	非安重	常設	-	-	6	基	-	同上				686

設工認申請設備リスト (37/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			1Cカスケード系端子盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				687
			1Cカスケード電動弁分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				688
			1C廃品第1段コンプレッサ電源盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				689
			1C廃品第1段コンプレッサ振動監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				690
			1C廃品第1段コンプレッサ連続監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				691
			1Dカスケード系計装盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				692
			1Dカスケード系変換器盤	既設	非安重	常設	-	-	6	基	-	同上				693
			1Dカスケード系端子盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				694
			1Dカスケード電動弁分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				695
			1D廃品第1段コンプレッサ電源盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				696
			1D廃品第1段コンプレッサ振動監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				697
			1D廃品第1段コンプレッサ連続監視盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				698
			1号Qマス分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				699
			1号UF ₆ 処理系計装盤A	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				700
			1号UF ₆ 処理系変換器盤A	既設	非安重	常設	-	-	7	基	-	同上				701
			1号UF ₆ 処理系端子盤A	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				702
			1号UF ₆ 処理系計装盤B	既設	非安重	常設	-	-	3	基	-	同上				703
			1号UF ₆ 処理系変換器盤B	既設	非安重	常設	-	-	6	基	-	同上				704
			1号UF ₆ 処理系端子盤B	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				705
			1号ラインヒータ盤	既設	非安重	常設	-	-	4	基	-	同上				706
			1号ラインヒータ断線検知器盤	既設	非安重	常設	-	-	4	基	-	同上				707
			1号特性試験機盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				708
			1号原料発生系温水ユニット電源盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				709
			1号製品系冷凍機ユニット制御盤	既設	非安重	常設	-	-	4	基	-	同上				710
			1号一般バージ系冷凍ユニット制御盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				711
			1号廃品系低温水ユニットチラー制御盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				712
			1号均質・ブレンディング設備分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				713
			1号ラインヒータ分電盤	既設	非安重	常設	-	-	10	基	-	同上				714
			1号均質・ブレンディング設備機側盤	既設	非安重	常設	-	-	2	基	-	同上				715
			1号サンプル小分け装置機側盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				716

設工認申請設備リスト (39/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				747
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				748
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				749
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				750
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				751
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				752
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				753
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				754
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				755
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				756
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				757
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				758
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				759
			1AB高周波電源入力変圧器盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				760
			1AB断路器盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				761
			1A高周波インバータ装置	既設	非安重	常設	-	-	■	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。	○			762
			1A高周波電源受電盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				763
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				764
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				765
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				766
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				767
			1A高周波電源制御用分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				768
			1A高周波電源運転制御盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				769
			1B高周波インバータ装置	既設	非安重	常設	-	-	■	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。	○			770
			1B高周波電源受電盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				771
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				772
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				773
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				774
				既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				775
			1Cカスケード系増設用中継端子箱	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				776

設工認申請設備リスト (40/40)

施設区分	設備区分	系統	機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可搬	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既認可の有無 ◎：仕様表 ○：その他	備考	事業変更許可に基づく設工認申請区分			番号
													(1) 新規基準への適合に 係る施設の変更 (①～⑤：1～5回申 請)	(2) 使用を廃止する設備の 存置保管廃棄等	(3) 新型遠心機更新等 (更新する375tSWU/y 分) ①：RE-2A ②：RE-2B, 2C	
			1Dカスケード系増設用中継端子箱	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				777
			1B高周波電源制御用分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				778
			1B高周波電源運転制御盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				779
			1CD高周波電源入力変圧器盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				780
			1CD断路器盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				781
			1C高周波インバータ装置	既設	非安重	常設	-	-	■	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。	○			782
			1C高周波電源受電盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				783
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				784
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				785
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				786
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				787
			1C高周波電源制御用分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				788
			1C高周波電源運転制御盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				789
			1D高周波インバータ装置	既設	非安重	常設	-	-	■	基	◎	既認可の仕様表対象機器を保管廃棄するため、仕様表により保管廃棄することを明確化する。	○			790
			1D高周波電源受電盤	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	設工認対象外としていた既設機器を今回、廃棄するものであり、申請対象外。				791
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				792
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				793
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				794
			■	既設	非安重	常設	-	-	■	基	-	同上				795
			1D高周波電源制御用分電盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				796
			1D高周波電源運転制御盤	既設	非安重	常設	-	-	1	基	-	同上				797

事業変更許可申請書と設備リストの番号による紐付け確認のイメージ

【本設備リスト】

発注 / 可搬	設備クラス	設備名称	設備の 位置 ○:付帯地 ○:その他	設備 の 形状 (形状、設置 可否等の 記載)	単位	備考	事業変更許可に基づく加工設備の種別			番号
							(1) 新規設置等への適合に 係る設備の変更 (①~③/①~③の 種別)	(2) 既存を廃止する設備の 設置取替設備	(3) 新旧両心機更新等 (更新する設備の 種別) ①:R0-24 ②:R0-26,30	
発注	第1種	IS	-	2	基	取上	◎			378
発注	-	-	-	-	式	取上	◎			379
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	①、②、③			380
発注	第1種	IS	◎	-	-	取上	◎			381
発注	第1種	IS	◎	-	-	取上	◎			382
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			383
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			384
発注	第1種	IS	◎	-	-	取上	◎			385
発注	第1種	IS	◎	-	-	取上	◎			386
発注	第1種	IS	◎	-	-	取上	◎			387
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			388
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			389
発注	第2種	第2種	-	-	-		○			390
発注	第2種	第2種	◎	-	-	中継のみ	◎			391
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎、③			392
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			393
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			394
発注	第2種	第2種	◎	-	-	取上	◎			395
---	---	---	---	---	---	取上、工事を行わない汎用の可搬式の設備材である	---			---

○色塗りした事業
変更許可申請書に
番号を付し、設備リ
ストとの紐付けを
確認。

【事業変更許可申請書】

一、加工施設の位置、構造及び設備

イ 加工施設の位置

六ヶ所ウラン濃縮工場加工施設（以下「本施設」という。）がある日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所（以下「事業所」という。）は、青森県の北東部に位置する下北半島南部の上北郡六ヶ所村大石平にある標高30～60mの丘陵地帯にあり、事業所南側は尾駁沼に面している。事業所から近接集落の野附地区までの距離は約1.5km、青森県青森市及び三沢市までの距離は、それぞれ約50km及び約30kmである。敷地付近概要図を第1図に示す。

(イ) 敷地の面積及び形状

事業所の敷地は、面積約340万㎡で、東西に長い形状である。本施設は、事業所内の北東部に位置する。

(ロ) 敷地内における主要な加工施設の位置

敷地内の本施設の主要な建物は、**中央操作棟**、**1号発回均質棟**、**2号発回均質棟**、**1号カスケード棟**及び**2号カスケード棟**より構成されるウラン濃縮建屋、**Aウラン貯蔵庫**、**Bウラン貯蔵庫**、**ウラン貯蔵・廃棄物庫**及び**搬出入棟**より構成されるウラン貯蔵・廃棄物建屋、**Aウラン濃縮廃棄物建屋**、**Bウラン濃縮廃棄物建屋**、**使用済遠心機保管建屋**及び**補助建屋**である。

敷地北東部には**中央操作棟**が位置し、その東側に**1号発回均質棟**、さらに東側に**1号カスケード棟**が隣接している。また、**中央操作棟**の西側に**2号発回均質棟**が位置し、**2号発回均質棟**の南側に**2号カスケード棟**が隣接している。**中央操作棟**の北側には**補助建屋**があり、架空の渡り廊下で接続されている。**中央操作棟**の南側には**Aウラン貯蔵庫**があり、地上部の渡り廊下で接続されている。**Aウラン貯蔵庫**の東側に**搬出入棟**、その東側に**Aウラン濃縮廃棄物建屋**、さらに東側に**使用済遠心機保管建屋**が隣接しており、**Aウラン濃縮廃棄物建屋**の南側に**Bウラン濃縮廃棄物建屋**が隣接している。また、**Aウラン貯蔵庫**の西側に**Bウラン貯蔵庫**、さらに西側に**ウラン貯蔵・廃棄物庫**が隣接している。

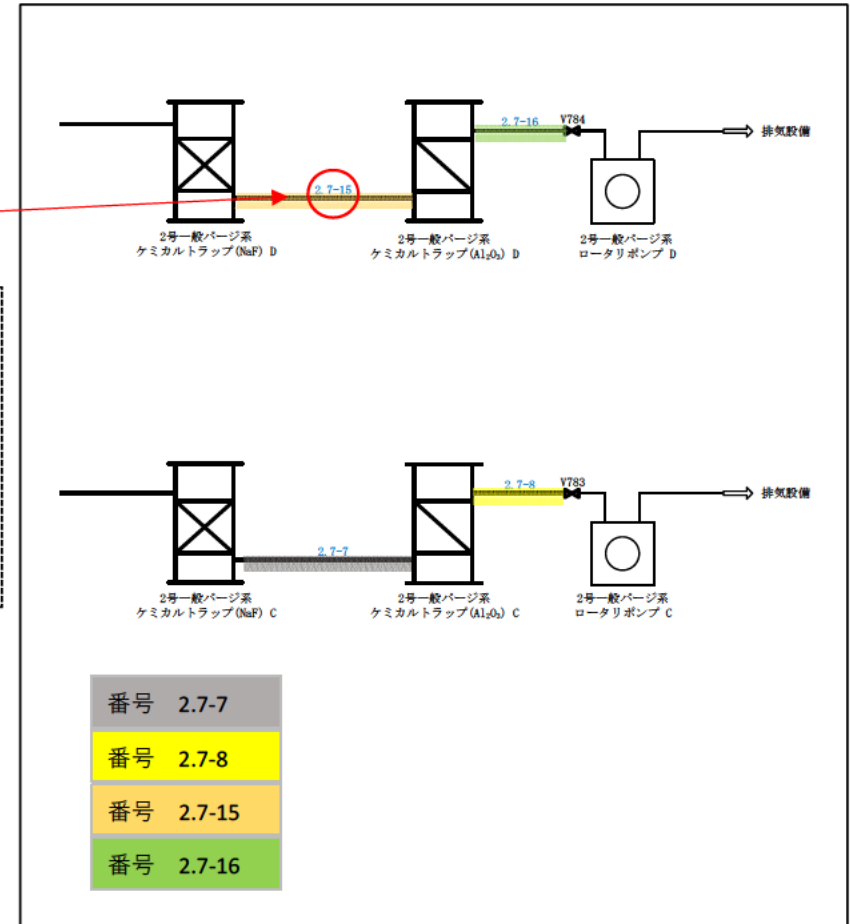
敷地内配置概要図及び加工施設一般配置概要図を第2図及び第3図に示す。

【本設備リスト】

機器名	既設 / 新設	安重 / 非安重	常設 / 可撤	耐震クラス	耐震設計	数量	単位	既設可否 ◎：仕舞表 ○：その他	備考
2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF) D 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1200) D	既設	非安重	常設	第1種	1G	—	式	◎	配管番号 2.7-15
2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1200) D 弁：2W-E604-D	既設	非安重	常設	第1種	1G	—	式	◎	配管番号 2.7-15
弁：2W-E041-B, C 弁：2W-E5043-B	既設	非安重	常設	第2種	1G	—	式	◎	配管番号 2.7-17
弁：2W-E6001-B, C, D 2号一般バージ系ブースタポンプA, B	既設	非安重	常設	第2種	1G	—	式	◎	配管番号 2.7-1

○色塗りした
系統図に記載
した配管番号
と設備リスト
との紐づけを
確認

【系統図 ※下図はイメージ図】



事業変更許可申請書の三、変更の内容と設工認申請区分との関係

No.	事業変更許可申請書(平成29年5月17日付け原規発第1705174号)		設工認		
	本文「三、変更の内容」		事業変更許可申請書に基づく設工認申請区分		
	項目	内容	申請区分① 「新規制基準対応の追加安全対策」 (第1回～第5回)	申請区分② 「使用を廃止する設備の存置保管廃棄等」	申請区分③ 「新型遠心機更新等」 (2A後半、2B、2C)
1	新規制基準への適合	核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正に伴い、六ヶ所ウラン濃縮工場加工施設を「加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」に適合させるために必要な安全対策を追加する。	第1回～第5回		
2	分離作業能力の削減等	RE-1設備(分離作業能力600tSWU/y)を廃止し、分離作業能力を450tSWU/yにする。また、最大処理能力を1890tU/yから減じて790tU/yに変更する。これに伴い、RE-1設備を密閉等の処置により核燃料物質の取り扱いができないよう措置し、設備及び機器を存置のまま保管廃棄することとし、RE-1設備を設置している1号カスケード室、1号発生回収室、1号中間室及び1号均質室を固体廃棄物の廃棄施設に変更後、カスケード設備の付着ウランを回収する。		○ (RE-1設備保管廃棄、 付着ウラン回収設備等)	
3	廃棄物建屋の増設	放射性固体廃棄物の保管廃棄能力の増強のため、Bウラン濃縮廃棄物建屋を増設する。合わせて、既設ウラン濃縮廃棄物建屋の名称をAウラン濃縮廃棄物建屋に変更する。		○ (Bウラン濃縮廃棄物建屋増設)	
4	貯蔵施設の変更	ウラン貯蔵・廃棄物建屋内のAウラン貯蔵室及びBウラン貯蔵室の製品シリンドラ置場における製品シリンドラの貯蔵能力を12本分減らし、同置場に1号カスケード室及び2号カスケード室内のカスケード設備から回収したウランを封入した付着ウラン回収容器12本を貯蔵する。	第5回 (製品シリンドラの貯蔵能力変更)		
5	廃棄の方法及び廃棄施設の変更	①使用済NaF及びスラッジの保管場所の変更	第5回 (使用済NaF及びスラッジのBウラン濃縮廃棄物室への移動)		
		②保修室の廃棄施設への変更	第1回 (保修室を廃棄施設へ変更)		
		③廃油の廃棄方法の変更	廃油等の廃棄方法に係る変更であり、保安規定にて対応		
6	2号カスケード設備の新型遠心機への更新等	分離作業能力450tSWU/yの2号カスケード設備のうち、75tSWU/yを既に新型遠心機に更新している。本申請は、残りの375tSWU/yについて、金属銅遠心機から新型遠心機に更新する。また、撤去した金属銅遠心機は、使用済遠心機保管建屋に保管廃棄する。今後、Cウラン貯蔵室には、使用済遠心機は保管しない。	第3回 (75tSWU/y(2A後半)金属銅遠心機撤去)		・2A後半 (75tSWU/y(2A後半)新型遠心機設置等) ・2B、2C (300tSWU/y(2B、2C)金属銅遠心機撤去、 新型遠心機設置等)
7	ドライクリーニング装置の撤去	管理区域で着用した被服の洗濯のために設置したドライクリーニング装置を撤去する。	第5回 (ドライクリーニング装置撤去)		

添付 2 設工認申請設備の全体像について

設工認申請設備の全体像について

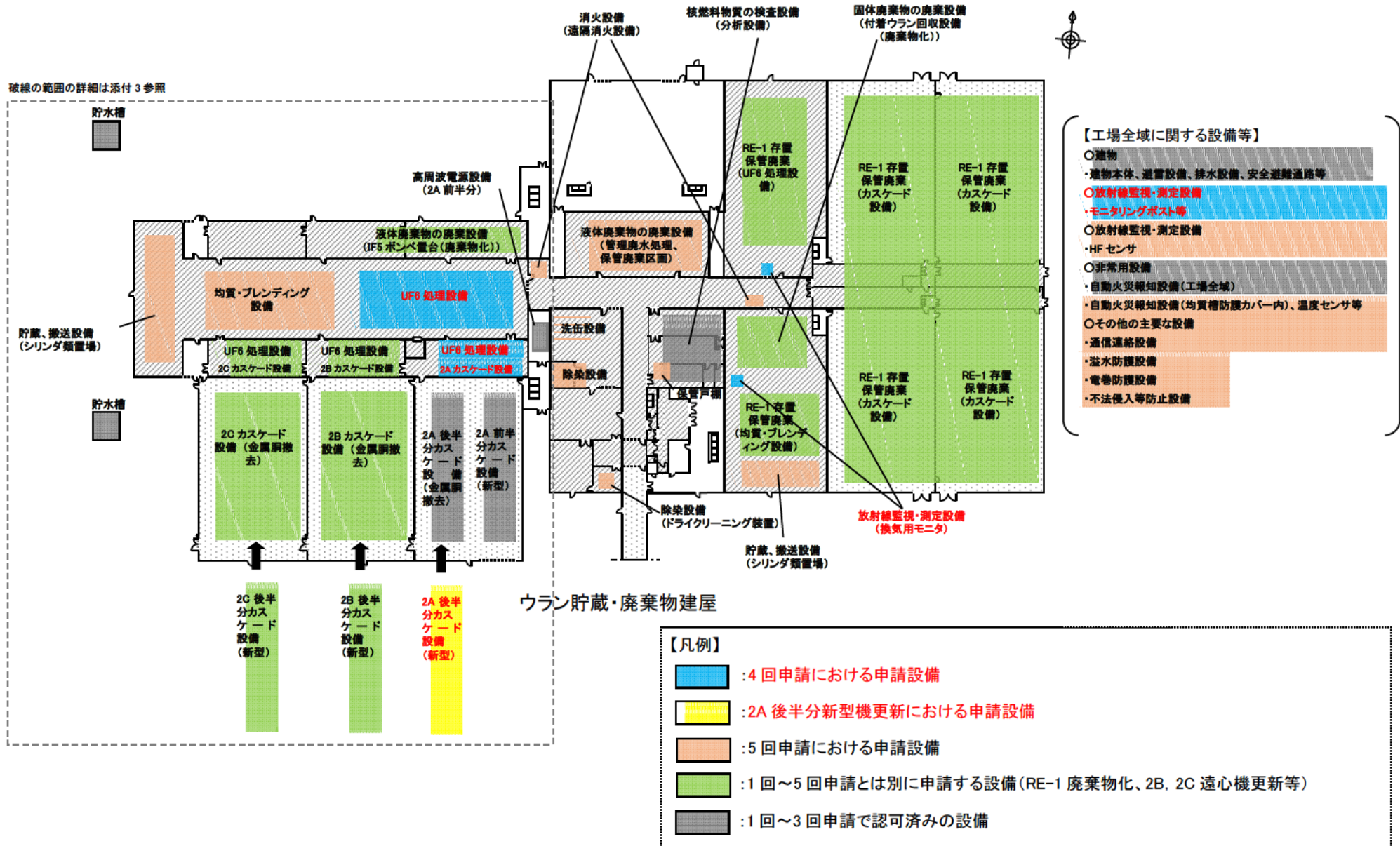
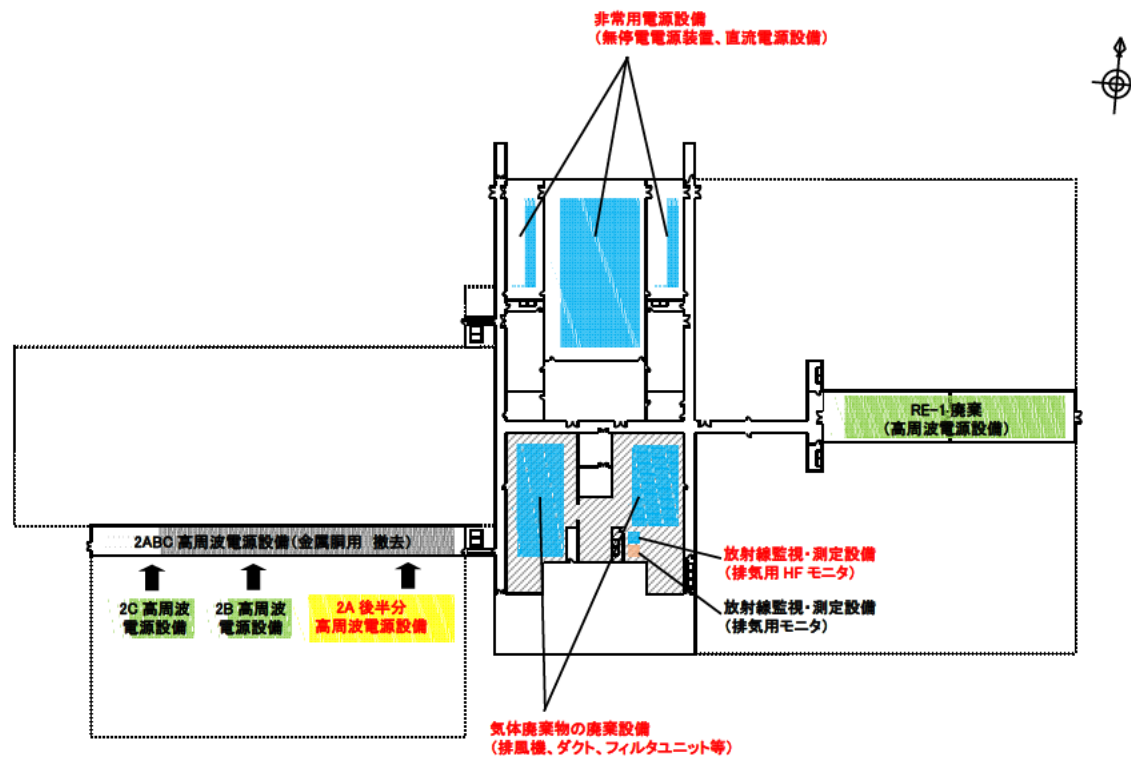


図 1 ウラン濃縮建屋 1 階における主な申請設備



- 【凡例】
- : 4 回申請における申請設備
 - : 2A 後半分新型機更新における申請設備
 - : 5 回申請における申請設備
 - : 1 回～5 回申請とは別に申請する設備 (RE-1 廃棄物化、2B, 2C 遠心機更新等)
 - : 1 回～3 回申請で認可済みの設備

図2 ウラン濃縮建屋2階における主な申請設備

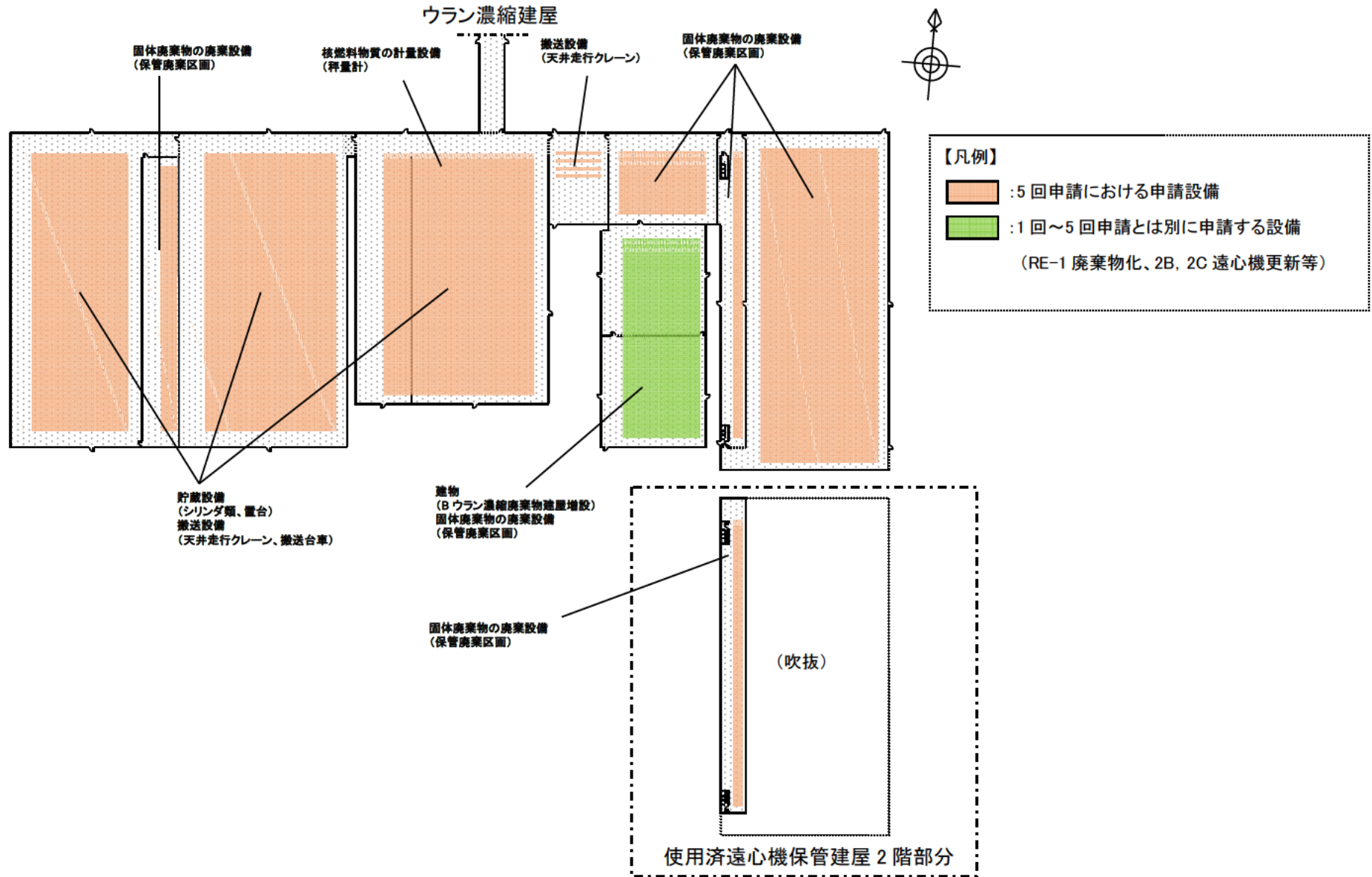


図3 ウラン貯蔵・廃棄物建屋、A ウラン濃縮廃棄物建屋、B ウラン濃縮廃棄物建屋及び使用済遠心機保管建屋における主な申請設備

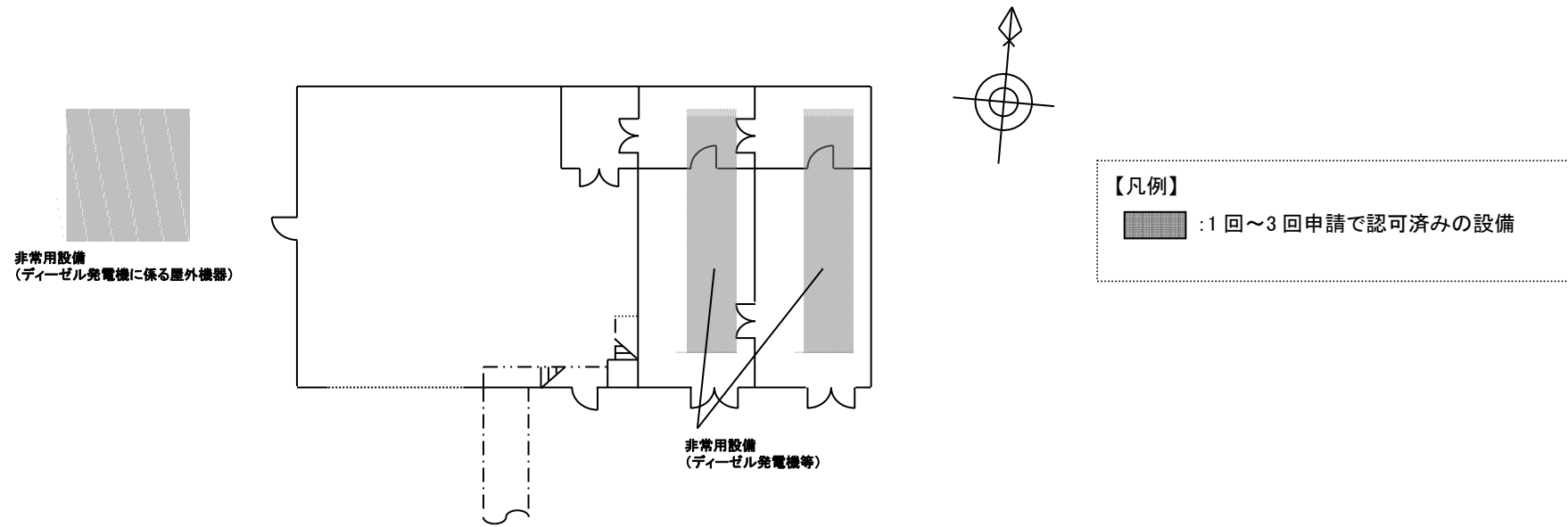
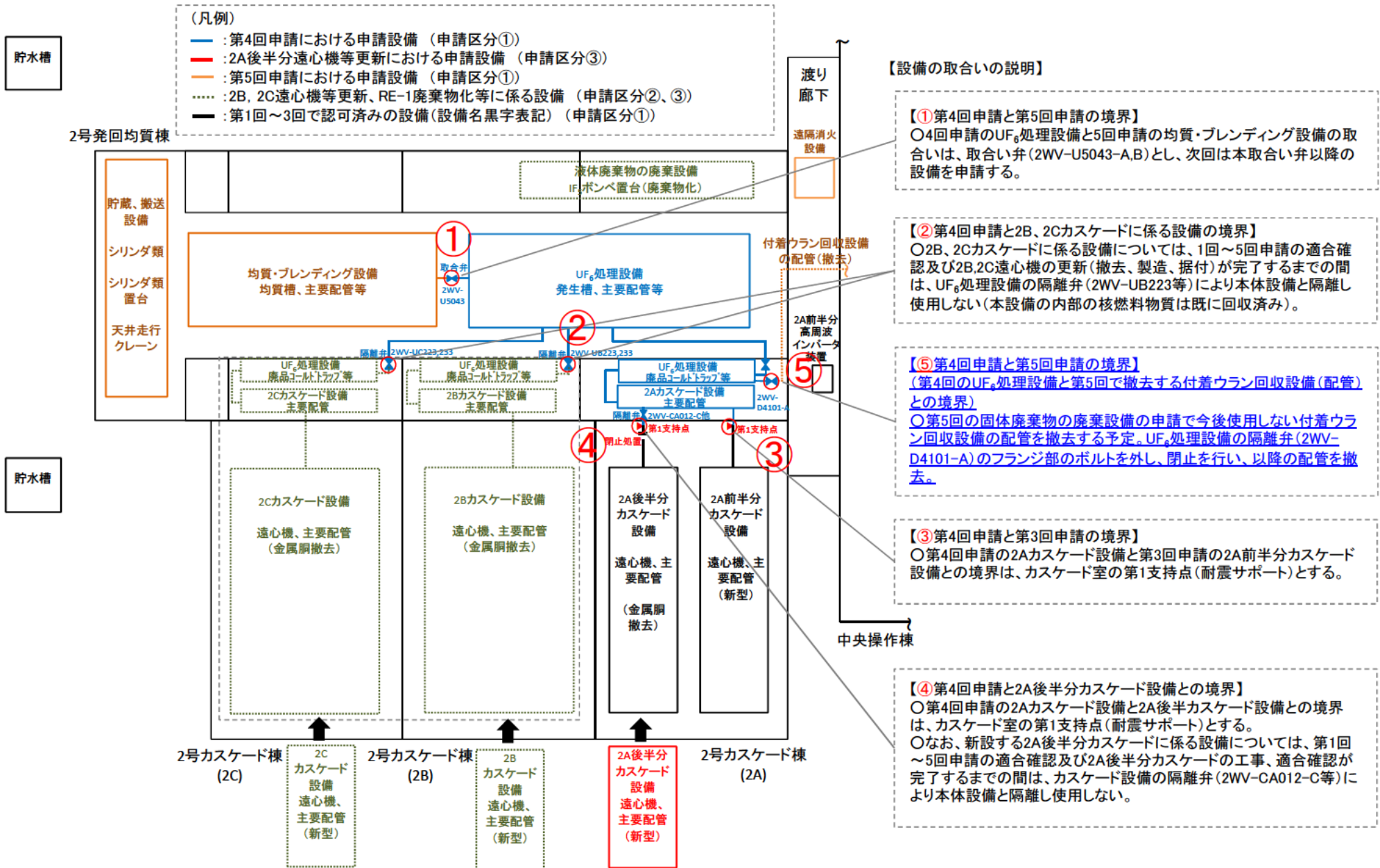
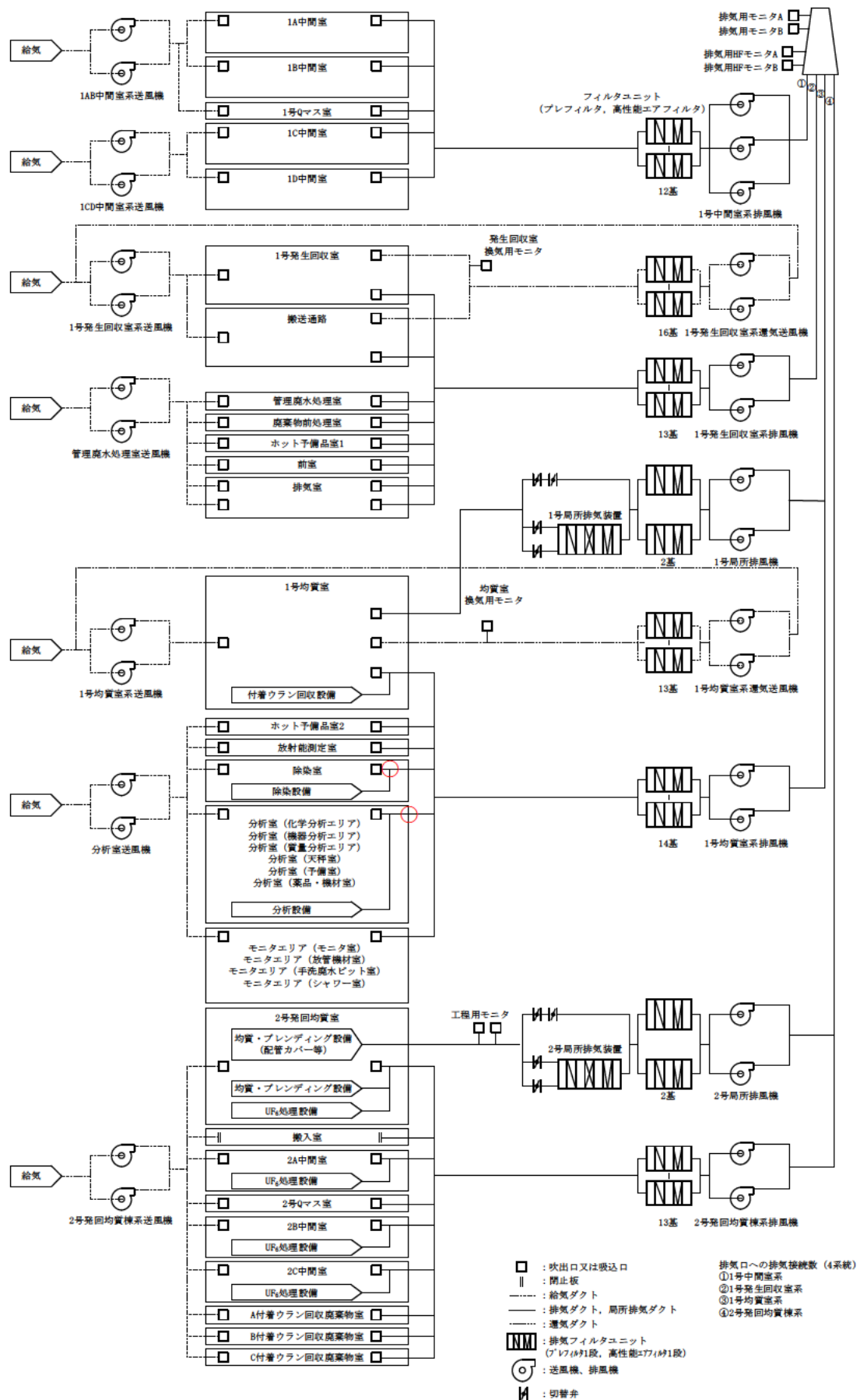


図4 補助建屋における主な申請設備

添付3 各申請における設備の取合いについて

図1 各申請における設備の配管の取合いについて

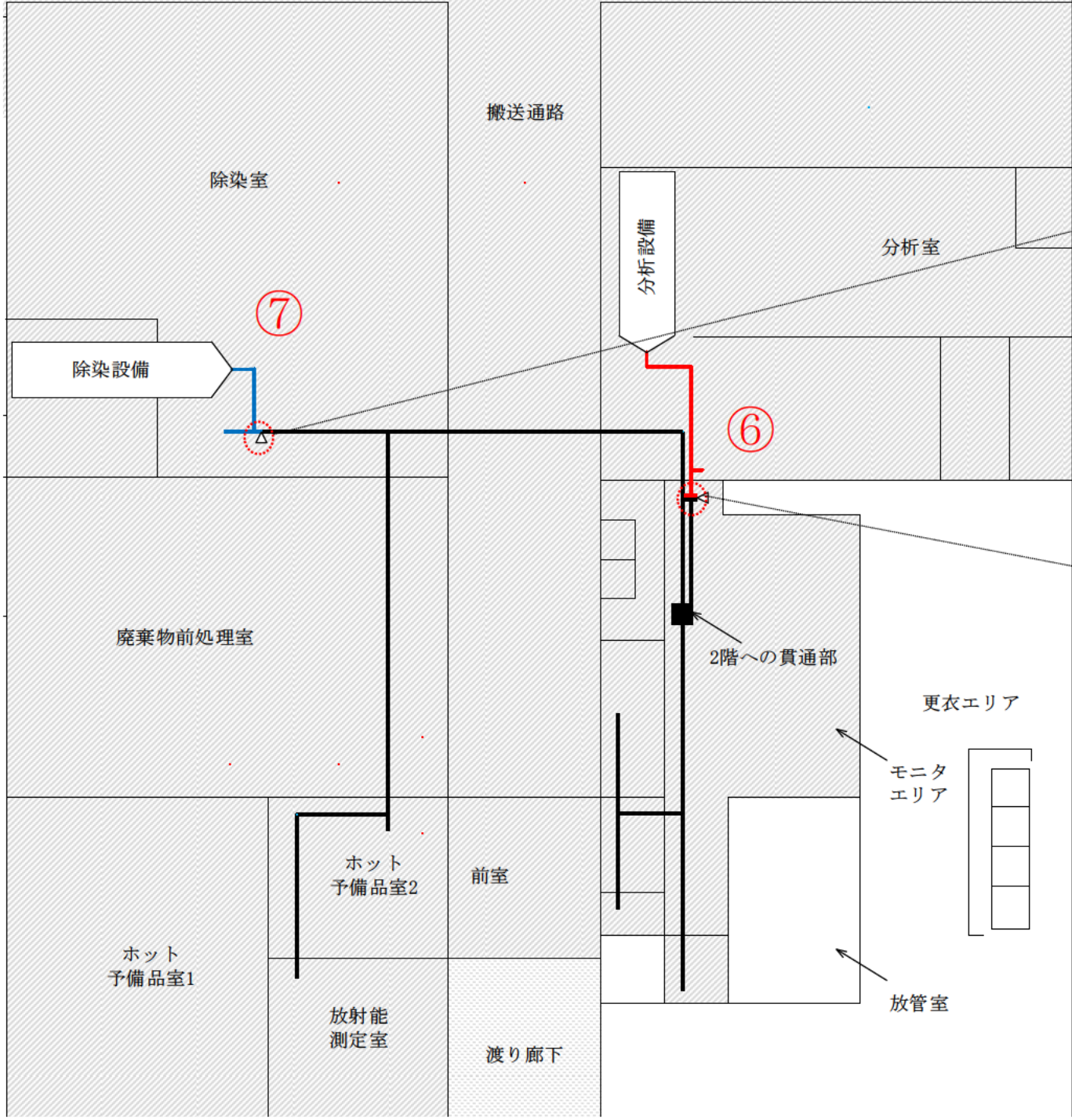
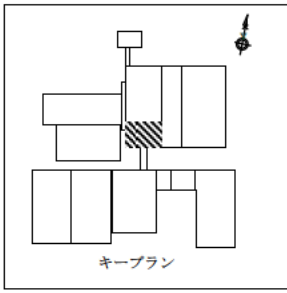




(注) 本図は事業変更許可申請書 許可番号: 原規発第1705174号 (平成29年5月17日付け) の「本文添付図 第9図 概略排気系統図」を基に作成したものである。

図2 各申請における設備のダクトの取合いについて

- 【凡例】
- (赤線) : 分析ダクト (第1回申請)
 - (青線) : 除染ダクト (第5回申請)
 - (黒線) : 排気ダクト (第4回申請)



【⑦第4回申請と第5回申請の取合いの説明】
 ○第5回申請の除染ダクトと第4回申請の排気ダクトの境界は除染室の支持点（耐震サポート）とする。

【⑥第1回申請と第4回申請の取合いの説明】
 ○第1回申請の分析ダクトと第4回申請の排気ダクトの境界はモニタエリアの支持点（取合フランジ部の耐震サポート）とする。

図3 第4回申請の排気ダクトと第1回申請の分析ダクト、第5回申請の除染ダクトとの取合い詳細図

添付 4 今回の申請における主な変更点について

今回の申請における主な変更点について

【記載例】

本資料は、2020年12月24日に申請した「新規制基準への適合申請のうちの第4回申請」及び「新型遠心機への更新申請」における申請内容（変更内容）の概要を説明するとともに申請内容の申請書への展開（記載先）を示すものである。表中の記載については、以下のとおり。

【名称】 仕様表作成対象設備を記載。

【変更区分】 申請書添付書類（3）「加工施設の技術基準への適合性に関する説明書」の冒頭に添付している「設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」に記載している変更区分を記載。

【概要】 申請書にはない項目であるが、技術基準の変更によらない変更（同一仕様品への設備更新等）を示すために主な変更内容を記載（「第14条 安全機能を有する施設」のような施設共通で変更のあるものを除く。）。

【基本設計方針】『A』 概要欄で示した変更内容が基本設計方針に記載されている場合に当該変更内容の番号を記載。

【仕様表】『B』 概要欄で示した変更内容が仕様表に記載されている場合に当該変更内容の番号を記載するとともに、変更となる項目を記載。

【説明書】『C』 基本設計方針、仕様表の変更内容が技術上の基準に適合していることを説明する必要がある場合に当該変更内容の番号を記載。

【図面】『D』 変更内容が設備の系統、配置、構造等に該当する場合に記載。

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考	
					概要	基本設計方針	仕様表				
							仕様				記載の適正化
濃縮施設	カスケード設備	ポンプ	2A製品ブースタポンプ	撤去	①撤去	-	④	-	①	新型遠心機（RE-2A前半分）導入時に製品系のガス移送補助として設置したが、運転実績から不要と判断し撤去するものであり、本機器の撤去によりカスケード設備の安全機能に影響を与えるものではない。	
		主配管	主要配管（RE-2A）	改造	① 耐震設計の変更（割増し係数変更） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加 ③ カバー等の施工 ④ 地震インターロック新規設置に係る配管改造	①,②,③	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①,②,③	④	-
		計装設備	主要配管の計測制御系 （製品濃縮度 ████████）	確認	① 圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロックの変更 ② 圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロックに係る計装盤の更新	①	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①,②	-	圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック（圧力計、差圧計）
			主要配管の計測制御系 （製品濃縮度 ████████）	確認							
			主要配管の計測制御系 （製品濃縮度）	確認							
主要配管の計測制御系 （地震計）	新設	① 新規設置	①	①	-	①	-	地震発生時のカスケード排気のインターロック、地震発生時の加熱停止のインターロック（地震計）			

(1) 第4回申請

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考		
					概要	基本設計方針	仕様表					
							仕様				記載の適正化	
濃縮施設	カスケード設備	ポンプ	2A製品ブースタポンプ	撤去	①撤去	-	①	-	①	新型遠心機（RE-2A前半分）導入時に製品系のガス移送補助として設置したが、運転実績から不要と判断し撤去するものであり、本機器の撤去によりカスケード設備の安全機能に影響を与えるものではない。		
		主配管	主要配管（RE-2A）	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加 ③ カバー等の施工 ④ 地震インターロック新規設置に係る配管改造	①,②,③	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①,②,③	④	-	
		計装設備	主要配管の計測制御系 （製品濃縮度 ████████ ）	改造	① 圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロックの変更 ② 圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロックに係る計装盤の更新	①	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①,②	-	-	圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック（圧力計、差圧計、濃縮度測定装置）
			主要配管の計測制御系 （製品濃縮度 ████████ ）									
	主要配管の計測制御系 （製品濃縮度）											
			主要配管の計測制御系 （地震計）	新設	① 新規設置	①	①	-	①	-	地震発生時のカスケード排気のインターロック、地震発生時の加熱停止のインターロック（地震計）	
	UF6処理設備	容器	2号圧力調整槽	確認	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加 ③ カバー等の施工	①,②,③	-	・項目名等の変更 ・鏡板に関する既設計情報を追加	①,②,③	-	-	
			2号製品コールドトラップ	確認	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更）	①	-	・項目名等の変更 ・鏡板に関する既設計情報を追加	①	-	-	
			2A廃品コールドトラップ	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 耐震補強（基礎プレート更新（A～C号機）） ③ 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加 ④ 設備更新（D号機）	①,③	-	・項目名等の変更 ・鏡板に関する既設計情報を追加	①,③	②,④	-	
			2号捕集排気系ケミカルトラップ（NaF）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第2類⇒第1類）） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,②	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	①,②	-	-	
			2号捕集排気系ケミカルトラップ（Al2O3）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第1類））	①	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	-	-	-	
			2Aカスケード排気系ケミカルトラップ（NaF） （CS系）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第2類⇒第1類）） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,②	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	①,②	-	-	
			2号カスケード排気系ケミカルトラップ（NaF） （CB系）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第2類⇒第1類）） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,②	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	①,②	-	-	
			2Aカスケード排気系ケミカルトラップ （Al2O3）（CS系）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第1類））	①	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	-	-	-	
2号カスケード排気系ケミカルトラップ （Al2O3）（CB系）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第1類））	①	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	-	-	-				

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考	
					概要	基本設計方針	仕様表				
							仕様				記載の適正化
濃縮施設	UF6処理設備	容器	2号一般バージ系コールドトラップ	確認	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,②	-	・項目名等の変更 ・鏡板に関する既設計情報を追加	①,②	-	-
			2号一般バージ系ケミカルトラップ（NaF）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第2類⇒第1類）） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,②	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	①,②	-	-
			2号一般バージ系ケミカルトラップ（Al2O3）	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第1類））	①	-	・項目名等の変更 ・ふた板、底板に関する既設計情報を追加	-	-	-
		ポンプ	2号捕集排気系ロータリポンプ	改造	① 設備更新	-	① 寸法	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	-	①	-
			2Aカスケード排気系プースタポンプ（CS系）	改造	① 耐震設計の変更（分類変更（第2類⇒第1類）） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加 ③ 設備更新	①,②	③ 容量、寸法、材料、 原動機出力	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②,③	③	-
			2号カスケード排気系プースタポンプ（CB系）	改造	① 耐震設計の変更（分類変更（第2類⇒第1類）） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加 ③ 設備更新	①,②	③ 容量、寸法、材料、 原動機出力	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②,③	③	-
			2Aカスケード排気系ロータリポンプ（CS系）	既設	変更なし	-	-	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	-	-	-
			2号カスケード排気系ロータリポンプ（CB系）	既設	変更なし	-	-	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	-	-	-
			2号一般バージ系プースタポンプ	確認	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,②	-	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②	-	-
			2号一般バージ系ロータリポンプ	既設	変更なし	-	-	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	-	-	-
		主配管	主要配管	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更、重要度分類の嵩上げ） ② 一部設備更新	①	② From-To、配管径	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①	②	-
		機械装置類	2号発生槽	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 耐震補強（子台車等の転倒防止） ③ 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,③	-	・項目名等の変更	①,③	②	-
			2号製品回収槽	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 耐震補強（子台車等の転倒防止） ③ 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,③	-	・項目名等の変更	①,③	②	-
			2号廃品回収槽	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 耐震補強（子台車等の転倒防止） ③ 外部からの衝撃に対する設計上の考慮を追加	①,③	-	・項目名等の変更	①,③	②	-
		計装設備	2号製品コールドトラップの計測制御系 （製品コールドトラップ内圧力）	確認	① 圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックに係る計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック（圧力計）
			圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック（測温抵抗体）								
			2号製品コールドトラップの計測制御系 （製品ガス移送ヘッダ圧力）	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	-	製品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック（圧力計）

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考	
					概要	基本設計方針	仕様表				
							仕様				記載の適正化
濃縮施設	UF6処理設備	計装設備	2A廃品コールドトラップの計測制御系 (2A廃品コールドトラップ内圧力)	確認	① 圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックに係る計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック (圧力計)
			2A廃品コールドトラップの計測制御系 (2A廃品コールドトラップ内温度)								圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック (測温抵抗体)
			2A廃品コールドトラップの計測制御系 (廃品ガス移送ヘッダ圧力)	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	-	廃品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (圧力計)
			2号一般バージ系コールドトラップの計測制御系 (2号一般バージ系コールドトラップ内圧力)	確認	① 圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックに係る計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック (圧力計)
			2号一般バージ系コールドトラップの計測制御系 (2号一般バージ系コールドトラップ内温度)								圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック (測温抵抗体)
			2号一般バージ系コールドトラップの計測制御系 (均質槽入口圧力)	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	-	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (圧力計)
			2号一般バージ系コールドトラップの計測制御系 (原料シリンダ槽入口圧力)	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	-	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (圧力計)
			2号発生槽の計測制御系 (原料シリンダ内圧力)	確認	① 圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックに係る計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック (圧力計)
			2号発生槽の計測制御系 (発生槽内温度)								圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック (測温抵抗体)
			2号発生槽の計測制御系 (温水ユニット温度)	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	-	温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック (測温抵抗体)
2号製品回収槽の計測制御系 (シリンダ重量)	確認	① 重量異常高による過充填防止のインターロック計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	重量異常高による過充填防止のインターロック (重量計)			
2号廃品回収槽の計測制御系 (シリンダ重量)	確認	① 重量異常高による過充填防止のインターロック計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	重量異常高による過充填防止のインターロック (重量計)			
放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	送・排風機	1号中間室系排風機	既設	① 耐震設計の変更 (分類変更 (第2類⇒第3類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②	-	溢水高さが溢水防護上の配慮が必要な高さ (没水許容高さ) を超えないことについては、次回申請の溢水影響評価において示す。
			1号発生回収室系排風機	既設	① 耐震設計の変更 (分類変更 (第2類⇒第3類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			1号均質室系還気送風機	確認	① 耐震設計の変更 (割り増し係数変更) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			1号均質室系排風機	確認	① 耐震設計の変更 (分類変更 (第2類⇒第1類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			2号発回均質棟系排風機	確認	① 耐震設計の変更 (分類変更 (第2類⇒第1類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考	
					概要	基本設計方針	仕様表				
							仕様				記載の適正化
放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	送・排風機	1号局所排風機	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第3類))	①	-	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①	-	-
			2号局所排風機	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第3類))	①	-	・項目名等の変更 ・原動機に関する既設計情報を追加	①	-	-
		主管	1号給気ダクト	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	①	-
			1号選気ダクト	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第3類⇒第1,2類))	①	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①	①	-
			1号排気ダクト	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第3類⇒第1,2類))	①	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①	①	-
			1号局所排気ダクト	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第3類⇒第1類))	①	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①	①	-
			2号給気ダクト	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	①	-
			2号排気ダクト	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第3類⇒第1,2類))	①	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①	①	-
			2号局所排気ダクト	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第3類⇒第1類))	①	-	・項目名等の変更 ・From-To表記に変更	①	①	-
		フィルタ	1号発生回収室系排気フィルタユニット	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第3類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①,②	-	溢水高さが溢水防護上の配慮が必要な高さ(没水許容高さ)を超えないことについては、次回申請の溢水影響評価において示す。
			1号発生回収室系選気フィルタユニット	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第3類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			1号中間室系排気フィルタユニット	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第3類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			1号均質室系排気フィルタユニット	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第1類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			1号均質室系選気フィルタユニット	確認	① 耐震設計の変更(割り増し係数変更) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			2号発回均質棟系排気フィルタユニット	確認	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第1類)) ② 溢水に対する設計上の考慮を追加	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①,②	-	同上
			1号局所排気フィルタユニット	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第1類))	①	-	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①	-	-
			2号局所排気フィルタユニット	既設	① 耐震設計の変更(分類変更(第2類⇒第3類))	①	-	・項目名等の変更 ・容量に関する既設計情報を追加	①	-	-

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考	
					概要	基本設計方針	仕様表				
							仕様				記載の適正化
放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	計装設備	1号中間室系排風機の計測制御系第1種管理区域（負圧）	確認	① 負圧警報に関する計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	第1種管理区域の排気機能維持（差圧計）
			1号発生回収室系排風機の計測制御系第1種管理区域（負圧）	確認	① 負圧警報に関する計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	第1種管理区域の排気機能維持（差圧計）
			1号均質室系排風機の計測制御系第1種管理区域（負圧）	確認	① 負圧警報に関する計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	第1種管理区域の排気機能維持（差圧計）
			2号発回均質棟系排風機の計測制御系第1種管理区域（負圧）	確認	① 負圧警報に関する計装盤更新	-	-	既設工認にて図面等にて示していたが、新たに仕様表対象とし、既設計情報を追加	①	-	第1種管理区域の排気機能維持（差圧計）
放射線管理施設	放射線監視・測定設備	計装設備	排気用HFモニタA	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第2類）） ② 溢水に対する設計上の考慮を追加 ③ 設備更新	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更	①,②	③	溢水高さが溢水防護上の配慮が必要な高さ（没水許容高さ）を超えないことについては、次回申請の溢水影響評価において示す。
			排気用HFモニタB	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第2類）） ② 溢水に対する設計上の考慮を追加 ③ 設備更新	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更	①,②	③	同上
			発生回収室換気用モニタ	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第2類）） ② 溢水に対する設計上の考慮を追加 ③ 設備更新	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更	①,②	③	同上
			均質室換気用モニタ	確認	① 耐震設計の変更（分類変更（第3類⇒第2類）） ② 溢水に対する設計上の考慮を追加 ③ 設備更新	①,②	② 溢水防護上の配慮が必要な高さ	・項目名等の変更	①,②	③	同上
			モニタリングポスト	確認	① 新たに規制対象となる既設の設備	①	①	-	①	-	-
その他の加工施設	非常用設備	電気設備	1号無停電電源装置	確認	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更）	①	-	・項目名等の変更 ・電圧、周波数に関する既設計情報を追加	①	-	-
			2号無停電電源装置	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 設備更新	①	② 容量、主要寸法、個数	・項目名等の変更 ・電圧、周波数に関する既設計情報を追加	①,②	②	-
			直流電源設備（直流110V蓄電池盤）	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 設備更新	①	② 容量、主要寸法、個数	・項目名等の変更	①,②	②	-
			直流電源設備（直流110V充電器盤）	改造	① 耐震設計の変更（割り増し係数変更） ② 設備更新	①	② 容量、主要寸法、個数	・項目名等の変更	①,②	②	-

(2) 新型遠心機への更新等

施設区分	設備区分	機種	名称	変更区分	主な変更点			説明書	図面	備考	
					概要	基本設計方針	仕様表				
							仕様				記載の適正化
濃縮施設	カスケード設備	主配管	主要配管 (RE-)	新設	①新規設置	①	-	①	①	-	
		機械装置類	遠心分離機 (RE-)	新設	①新規設置	①	-	①	①	-	
	高周波電源設備	電気設備	高周波インバータ装置	新設	①新規設置	①	-	①	①	-	

添付 5 RE-1 廃棄物化の設工認の申請方針について

1. RE-1 廃棄物化の設工認の申請方針について

(1) 概要

既存の設備・機器（RE-1 設備）の廃棄に係る考え方と設工認の手続きについて以下に整理する。

(2) 設備・機器の生産機能停止と廃棄について

RE-1 設備（カスケード設備、高周波電源設備、UF₆処理設備、均質・ブレンディング設備）については、今後、濃縮ウランの製造に使用する予定がないことから、使用を停止して廃棄する。本廃棄において、非管理区域に設置する設備については、一般の産業廃棄物と同様に撤去・処分を行い、管理区域に設置する設備については、存置の状態でも保管廃棄することを基本とする。廃棄に係る具体的な方針を以降に示す。

- ・廃棄する RE-1 設備のうち、高周波電源設備については、非管理区域に設置している設備のため、廃棄に当たって原子力災害防止上の安全措置はないことから、撤去し適切に処分する。
- ・カスケード設備、UF₆処理設備及び均質・ブレンディング設備については、現状、更新の予定はないことから、解体・撤去を行わず、存置の状態でも保管廃棄する。
- ・このうち、カスケード設備については、遠心分離機等の内部に固体状のウラン（UF₄）が付着していることから、付着ウラン回収設備によりこれを可能な限り除去した後、保管廃棄する。
- ・カスケード設備の付着ウラン回収作業の終了後には、使用目的の無くなる付着ウラン回収設備についても同様に存置の状態でも保管廃棄する。
- ・固体廃棄物の廃棄については、加工規則第七条の八 第一項 第十二号に「焼却、容器に封入又は容器に固型化するか、大型機械等については、放射線障害防止の効果を持った保管廃棄施設に保管廃棄すること」と規定されていることから、設備・機器の設置されている室・区画を保管廃棄施設に設定し、存置の状態でも保管廃棄する。
- ・機器を存置の状態でも保管廃棄するに当たっては、機器の内部に UF₆ がない状態にし、窒素パージして残留するごく少量の UF₆（気体）を除去した後、配管を閉止して密封し、生産機能を停止して核燃料物質を取扱えない状態にしたうえで、保安規定に基づき「溶接等により開口部が閉止されていることを確認」し、加工規則第七条の「記録」を作成して保管廃棄する。

(3) 設工認申請

前記の対応を図るために、以下の手順により設工認申請を行うことを計画している。

RE-1 設備及び付着ウラン回収設備を保管廃棄するまでには、長期間にわたり段階的に措置を進めることになるため、設工認を3段階で申請、認可を受け、廃棄化を進めていく計画としている。

【第1段階】

①UF₆処理設備、均質・ブレンディング設備、1Aカスケード設備の存置保管廃棄

今後使用しないRE-1のUF₆処理設備、均質・ブレンディング設備、既に付着ウランを回収済みの1Aカスケード設備について、配管閉止等による生産機能の停止、存置の状態での保管廃棄するための廃棄区画を申請する。

②1Bカスケード設備（付着ウラン未回収）、付着ウラン回収設備の変更

1Bカスケード設備の付着ウランを回収するため、事業変更許可申請書のとおり付着ウラン回収設備の施設区分を濃縮施設から廃棄施設に変更するとともに1Bカスケード設備と付着ウラン回収設備を接続する配管の設置及び新規規制基準への適合（耐震割増係数変更、カバー、シート設置等）を申請する。また、1Bカスケード設備について、配管閉止等による生産機能の停止を申請する。

⇒上記の認可、工事、適合検査等完了後に、付着ウラン回収設備にて1Bカスケード設備の付着ウランを回収する（回収期間約1年）。

【第2段階】

③1Bカスケード設備の存置保管廃棄

第1段階で付着ウランを回収した1Bカスケード設備について、存置の状態での保管廃棄するための廃棄区画を申請する。

④1C,Dカスケード設備（付着ウラン未回収）、付着ウラン回収設備の変更

1C,Dカスケード設備の付着ウランを回収するため、1C,Dカスケード設備と付着ウラン回収設備を接続する配管の設置及び新規規制基準への適合（耐震割増係数変更、カバー、シート設置等）を申請する。また、1C,Dカスケード設備について、配管閉止等による生産機能の停止を申請する。

⇒上記の認可、工事、適合検査等完了後に、付着ウラン回収設備にて1C,Dカスケード設備の付着ウランを回収する（回収期間約2年）。

【第3段階】

⑤1C, Dカスケード設備の存置保管廃棄

第2段階で付着ウランを回収した1C, Dカスケード設備について、存置の状態で保管廃棄するための廃棄区画を申請する。

⑥付着ウラン回収設備の存置保管廃棄

使用を終えた付着ウラン回収設備について、配管閉止等による運転機能の停止、存置の状態で保管廃棄するための廃棄区画を申請する。

《添付図》

- ・RE-1設備の保管廃棄に係る設工認の整理フロー

RE-1 設備の保管廃棄に係る設工認の整理フロー

設 備	事業 (変更) 許可	設工認 第1段階	設工認 第2段階	設工認 第3段階	検査	
RE-1 UF ₆ 処理設備	<p>【RE-1 設備の保管廃棄】</p> <p>(1) UF₆処理設備 存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文主要な設備・機器から削除 1号発生回収室を保管廃棄施設へ <p>(2) 均質・ブレンディング設備 存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文主要な設備・機器から削除 1号均質室の一部を保管廃棄施設へ <p>(3) RE-1A~1D カスケード 存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文主要な設備・機器から削除 (付着ウランの回収後に保管廃棄) 1号カスケード室を固体廃棄物の廃棄設備へ <p>(4) RE-1A~1D 高周波電源設備 撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文主要な設備・機器から削除 	<p>①UF₆処理設備の存置廃棄</p> <p>①均質・ブレンディング設備の存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管閉止等による生産機能停止 1号均質室の一部(均プレエリア)及び1号発生回収室を保管廃棄施設へ 			<p>1号発生回収室 保管能力検査</p> <p>1号均質室(均プレエリア) 保管能力検査</p>	
RE-1 均質・ブレンディング設備						
RE-1A カスケード			<p>①1A カスケード設備の存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管閉止等による生産機能停止、1A カスケード室を保管廃棄施設へ (1A は付着ウラン回収実施済) 			1A カスケード室 保管能力検査
RE-1B カスケード			<p>②1B カスケード設備の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管閉止等による生産機能停止 新規制基準適合 (耐震割増係数変更、カバー、シート設置等) 			新規制基準適合確認
RE-1C カスケード			<p>1B 付着ウラン回収</p>	<p>③1B カスケード設備の存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 1B カスケード室を保管廃棄施設へ 		1B カスケード室 保管能力検査
RE-1D カスケード				<p>④1C, D カスケード設備の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管閉止等による生産機能停止 新規制基準適合 (耐震割増係数変更、カバー、シート設置等) 		新規制基準適合確認
RE-1A~1D 高周波電源設備			<p>高周波電源設備撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 高周波電源設備を撤去 			高周波電源設備撤去確認
付着ウラン回収設備	<p>(5) 施設区分変更/新規制基準適合</p> <ul style="list-style-type: none"> 濃縮施設から廃棄施設へ変更 新規制基準への適合 <p>(6) 存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> カスケードの付着ウラン回収後に存置廃棄 	<p>②付着ウラン回収設備の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設区分変更 (濃縮施設⇒廃棄施設) 新規制基準適合 (耐震割増係数変更、カバー、シート設置等) 1B カスケードと付着ウラン回収設備を配管で接続 	<p>④付着ウラン回収設備の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 1C, D カスケードと付着ウラン回収設備を配管で接続 新規制基準適合 (耐震割増係数変更、カバー、シート設置等) 	<p>⑤1C, D カスケード設備の存置廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> 1C, D カスケード室を保管廃棄施設へ 	<p>新規制基準適合確認</p> <p>1号均質室(付着エリア) 保管能力検査</p>	